

工事番号												(様式-1)	
課長		係長		係長		係長		係員		検算		担当	
工 事 名		令和5年度(明許繰越)堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)										設計書	
施 工 箇 所		安曇野市 堀金中学校										金抜き設計書	
設 計 概 要								施 工 方 法		請 負			
<b>■令和5年度(明許繰越)堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)</b>  ・北校舎1Fトイレの全面改修 ・1F生徒用男女トイレ:内装・設備機器及び設備配管全面改修 ・1F水飲み場、隣接廊下:内装及び設備機器の部分改修 設備配管全面改修 ・PS内配管の更新								施 工 期 間		日間			
								契約年月日		令和      年      月      日			
								竣工予定年月日		令和    6    年    10    月    25    日			
								契約保証方法		金銭的保証			
								・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合は除きます。					

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	令和5年度(明許繰越)堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)						
		総 括 表					
I	直接工事		1.00	式			
	直接工事費計						
II	共通費						
	共通仮設費 指定仮設		1.00	式			
	比率計上		1.00	式			
	純工事費						
III	現場管理費		1.00	式			
	工事原価						
IV	一般管理費		1.00	式			
	積算価格						
V	消費税						
	総合計						

	名          称	規                格	数    量	単位	単    価	金    額	備        考
I	直接工事						
		種    目    内    訳					
A	建築工事		1.00	式			
B	解体工事		1.00	式			
C	電気設備工事		1.00	式			
D	機械設備工事		1.00	式			
	I -計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	共通仮設 指定仮設費						
		科目内訳書					
1	指定仮設						
	交通誘導員	20名	20.0	人			
	室内環境測定	アクティブ法 6項目 工事前後2回 各3室想定	1.0	式			
	1. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A	建築工事	科目内訳書					
A-a	建築工事 補助対象工事		1.0	式			
A-b	建築工事 補助対象外工事		1.0	式			
	A-合計		1.0	式			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-a	建築工事 補助対象工事	科目内訳書					
A-a-1	直接仮設工事		1.0	式			
A-a-2	金属工事		1.0	式			
A-a-3	左官工事		1.0	式			
A-a-4	金属製建具工事	鋼製建具	1.0	式			
A-a-5	金属製建具工事	トイレブース	1.0	式			
A-a-6	木製建具工事		1.0	式			
A-a-7	ガラス工事		1.0	式			
A-a-8	鋼製建具枠撤去工事		1.0	式			
A-a-9	塗装工事		1.0	式			
A-a-10	内装工事		1.0	式			
A-a-11	雑工事		1.0	式			
	A-a. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-a-1	直接仮設工事						
	墨出し	仕上	38.8	m <sup>2</sup>			
	養生費	躯体仕上	38.8	m <sup>2</sup>			
	清掃片付け		38.8	m <sup>2</sup>			
	引き渡し前清掃		38.8	m <sup>2</sup>			
	内部仕上用足場	脚立足場 2ヶ月	38.8	m <sup>2</sup>			
	A-a-1. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-a-2	金属工事						
	LGS下地組 天井	既設吊りボルト再利用 19形	38.8	m <sup>2</sup>			
	LGS下地組 内壁 W25		10.0	m <sup>2</sup>			
	LGS下地組 内壁 W50		23.0	m <sup>2</sup>			
	LGS下地組 内壁 W50開口部塞ぎ		9.5	m <sup>2</sup>			
	LGS下地組 内壁 ライニングW100		5.6	m <sup>2</sup>			
	天井点検口	1階天井共 □450 アルミ目地タイプ	8.0	ヶ所			
	男子便所ライニング天板	SUS W120 片面小口カバー共	4.5	m			
	法定福利費		1.0	式			
	A-a-2. 計						



	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-a-3	左官工事						
	床 モルタル金鰻 t=50	下地処理共	34.2	m <sup>2</sup>			
	床 既存和便器撤去跡補修	鉄筋補強共	5.0	ヶ所			
	床 既存洋便器撤去跡補修		1.0	ヶ所			
	巾木巻上部分タイル研り跡補修		22.4	m			
	既存内壁上部薄塗補修	壁不燃化粧板直張り用下地	7.3	m <sup>2</sup>			
	既存タイル剥離部研り補修		2.4	m <sup>2</sup>			
	壁下地調整 薄塗り補修	躯体孕み凹み調整 塗厚3～10mm程度	90.1	m <sup>2</sup>			
	A-a-3. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-a-4	金属製建具工事						
	AW-01 生徒便所窓	カバー工法 壁見切縁共	2.0	ヶ所			
	AD-01 生徒便所出入口アルミ枠	欄間袖壁一体型 カバー工法 壁見切縁共	2.0	ヶ所			
		上記カバー工法は以下を含む 既存障子撤去、場内集積、建具額縁取付、内部外部シーリング					
	A-a-4. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-a-5	金属製建具工事 トイレブース						
	TB-01'	材工共	1.0	ヶ所			
	TB-02'	材工共	1.0	ヶ所			
	TB-03'	材工共	1.0	ヶ所			
	法定福利費		1.0	式			
	A-a-5. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-a-6	木製建具工事						
	WD-01 生徒便所入口ドア	本体、付属金物、取付費共 1900*700*40	2.0	ヶ所			
	A-a-6. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-a-7	ガラス工事						
	AW-01 4mm型	470＊900	4.0	枚			
	AW-01 4mm型	940＊390	2.0	枚			
	AD-01 4mm型	1050＊400	2.0	枚			
	AD-01 4mm型	300＊900	4.0	枚			
	シリコンシーリング	6＊6	66.0	m			
	A-a-7. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-a-8	鋼製建具枠撤去工事						
	AD-01 既存建具枠シーリング除去		11.8	m			
	AD-01 既存建具枠ガラス撤去		0.9	m <sup>2</sup>			
	AD-01 撤去材場内集積		1.0	式			
	AD-01 既存建具枠コンクリカット, 研り		1.0	回			
	AD-01 機械損料		1.0	回			
	AD-01 撤去材場内集積		1.0	式			
	A-a-8. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-a-9	塗装工事						
	床防塵塗装 土間コン	下地処理共	4.5	m <sup>2</sup>			
	天井 EP	新設ヶヵル面 下地処理共	34.2	m <sup>2</sup>			
	建具本体 木部 OSCL		5.3	m <sup>2</sup>			
	法定福利費		1.0	式			
	A-a-9. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-a-10	内装工事						
	天井ケイカル板 t=6.0		34.2	m <sup>2</sup>			
	天井化粧石膏ボード t=9.5		4.5	m <sup>2</sup>			
	天井廻り縁 フレ <sup>ス</sup>		48.8	m			
	壁不燃化粧板 t=3.0	ジョイナー工法	90.1	m <sup>2</sup>			
	壁耐水石膏ボード t=9.5		42.5	m <sup>2</sup>			
	床長尺塩ビシート t=2.5		34.2	m <sup>2</sup>			
	ワト巾木	H100	38.2	m			
	トイレ出入口床マット	900*600程度	2.0	ヶ所			
	法定福利費		1.0	式			
	小便器用汚垂れ石	セラミック内装床陶板	1.9	m <sup>2</sup>			
	A-a-10. 計						



	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-a-11	雑工事						
	SK配管用コア抜き	生徒便所廊下側SK φ120程度	2.0	ヶ所			
	既設換気扇開口部補修	□300→φ150/既設換気扇開口部塞ぎ	2.0	ヶ所			
	トイレベース荷掛フック金物取付	ホームフックC型大 材工共	6.0	ヶ所			
	A-a-11. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-b	建築工事 補助対象外工事	科目内訳書					
A-b-1	直接仮設工事		1.0	式			
A-b-2	板金工事		1.0	式			
A-b-3	金属工事		1.0	式			
A-b-4	塗装工事		1.0	式			
A-b-5	内装工事		1.0	式			
	A-b. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-b-1	直接仮設工事						
	北校舎						
	墨出し	仕上	6.3	m <sup>2</sup>			
	養生費	躯体仕上	33.5	m <sup>2</sup>			
	清掃片付け		33.5	m <sup>2</sup>			
	引き渡し前清掃		6.3	m <sup>2</sup>			
	内部仕上用足場	脚立足場 2ヶ月	6.3	m <sup>2</sup>			
	内部足場 階段室用	安全手摺、メッシュシート共 ステージ足場1.8×1.2×4.4m	1.0	基			
	内部足場 場内小運搬		2.0	回			
	法定福利費		1.0	式			
	搬入路床養生		309.3	m <sup>2</sup>			
	A-b-1. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-b-2	板金工事						
	既存SUSラインク`撤去処分	天板、正面板 運搬処分共	1.0	ヶ所			
	SUS天板	t=0.8加工	2.8	m			
	SUS正面板	t=0.8加工 蛇口穴開け共	2.8	m			
	片面小口止		1.0	ヶ所			
	コーキング`処理		9.0	m			
	法定福利費		1.0	式			
	A-b-2. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-b-3	金属工事						
	LGS下地組 天井	既設吊りボルト再利用 19形	6.3	m <sup>2</sup>			
	法定福利費		1.0	式			
	天井点検口	1階天井共 □450 アルミ目地タイプ	4.0	ヶ所			
	A-b-3. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-b-4	塗装工事						
	内壁 SOP 壁面		10.4	m <sup>2</sup>			
	内壁 SOP 扉面		2.6	m <sup>2</sup>			
	天井 EP	新設ケイル面 下地処理共	6.3	m <sup>2</sup>			
	窓枠 SOP	水飲み場	9.2	m			
	建具枠 木部 着色ケイル	水飲み場廊下側	8.0	m			
	巾木 SOP		6.3	m			
	法定福利費		1.0	式			
	A-b-4. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-b-5	内装工事						
	天井 ケーブル板 t=6.0		6.3	m <sup>2</sup>			
	天井廻り縁 フレック		11.2	m			
	床長尺塩ビシート t=2.5		6.3	m <sup>2</sup>			
	法定福利費		1.0	式			
	内壁 ケーブル板6.0 復旧	材工共	3.9	m <sup>2</sup>			
	A-b-5. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B	解体工事	科目内訳書					
B-a	解体工事 補助対象工事		1.0	式			
B-b	解体工事 補助対象外工事		1.0	式			
	B-合計						



	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B-a	解体工事 補助対象工事						
B-a-1	建物解体処分	撤去、積込、運搬、処分費含む	1.0	式			
B-a-2	機器類解体処分	撤去、積込、運搬、処分費含む	1.0	式			
B-a-3	管材その他処分		1.0	式			
	B-a. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B-a	解体工事 補助対象工事						
B-a-1	建物解体処分						
	天井材 LGS下地共	撤去	38.8	m <sup>2</sup>			
	同上	積込	38.8	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	38.8	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	38.8	m <sup>2</sup>			
	既存カーペット	撤去	4.5	m <sup>2</sup>			
	同上	積込	4.5	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	4.5	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	4.5	m <sup>2</sup>			
	巾木部分タイル	アスベスト含有 研り、撤去	22.4	m			
	同上	積込	22.4	m			
	同上	運搬	22.4	m			
	同上	処分	22.4	m			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ガラス間仕切解体撤去	撤去	4.7	m <sup>2</sup>			
	同上	積込	4.7	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	4.7	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	4.7	m <sup>2</sup>			
	建具枠 アルミ	撤去 建築工事計上					
	同上	積込	2.0	ヶ所			
	同上	運搬	2.0	ヶ所			
	同上	処分	2.0	ヶ所			
	便所建具ドア	撤去 建築工事計上					
	同上	積込	2.0	本			
	同上	運搬	2.0	本			
	同上	処分	2.0	本			
	トイレブース 生徒男子便所	撤去	10.7	m <sup>2</sup>			
	同上	積込	10.7	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	10.7	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	10.7	m <sup>2</sup>			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	トイレブース 生徒女子便所	撤去	16.4	m <sup>2</sup>			
	同上	積込	16.4	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	16.4	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	16.4	m <sup>2</sup>			
	B-a-1. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B-a-2	機器類解体処分	撤去、運搬、処分費含む					
	和便器	斫り（撤去 機械設備工事計上）	5.0	ヶ所			
	同上	積込	5.0	ヶ所			
	同上	運搬	5.0	ヶ所			
	同上	処分	5.0	ヶ所			
	腰掛け便器	斫り（撤去 機械設備工事計上）	1.0	ヶ所			
	同上	積込	1.0	ヶ所			
	同上	運搬	1.0	ヶ所			
	同上	処分	1.0	ヶ所			
	小便器	アスベスト含有 斫り（撤去 機械設備工事計上）	4.0	ヶ所			
	同上	積込	4.0	ヶ所			
	同上	運搬	4.0	ヶ所			
	同上	処分	4.0	ヶ所			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	手洗い流し SUS 生徒男子、女子便所	撤去 機械設備工事計上					
	同上	積込	2.0	ヶ所			
	同上	運搬	2.0	ヶ所			
	同上	処分	2.0	ヶ所			
	掃除用流し SUS 生徒男子、女子便所	撤去 機械設備工事計上					
	同上	積込	2.0	ヶ所			
	同上	運搬	2.0	ヶ所			
	同上	処分	2.0	ヶ所			
	B-a-2. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B-a-3	管材その他処分	撤去は機械設備工事計上					
	衛生器具 機械明細001の単水栓	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	給水管 機械明細004相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	給水管保温材 機械明細005相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	排水管 機械明細008相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	排水管保温材 機械明細009相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	パネルヒーター	W900*H500コンセント式 積込	2.0	台			
	同上	運搬	2.0	台			
	同上	処分	2.0	台			
	換気扇	有圧換気扇□300型 積込	2.0	台			
	同上	運搬	2.0	台			
	同上	処分	2.0	台			
	照明器具	蛍光灯20W*1灯/逆富士型 積込	4.0	台			
	同上	運搬	4.0	台			
	同上	処分	4.0	台			
	B-a-3. 小計						



	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B-b	解体工事 Ⅲ期 補助対象外工事						
B-b-1	建物解体処分		1.0	式			
B-b-2	管材その他処分		1.0	式			
	B-b. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B-b	解体工事 Ⅲ期 補助対象外工事						
B-b-1	建物解体処分						
	天井材 LGS下地共	撤去	19.0	m <sup>2</sup>			
	同上	積込	19.0	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	19.0	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	19.0	m <sup>2</sup>			
	床長尺塩ビシート剥ぎ	撤去	12.7	m <sup>2</sup>			
	同上	積込	12.7	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	12.7	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	12.7	m <sup>2</sup>			
	内壁材ケイホル板撤去 下地GL工法	撤去	3.9	m <sup>2</sup>			
	同上	積込	3.9	m <sup>2</sup>			
	同上	運搬	3.9	m <sup>2</sup>			
	同上	処分	3.9	m <sup>2</sup>			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ビット内集積混合廃棄物	撤去	1.5	m3			
	同上	積込	1.5	m3			
	同上	運搬	1.5	m3			
	同上	処分	1.5	m3			
	B-b-1. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B-b-2	管材その他処分	撤去は機械設備工事計上					
	衛生器具 機械明細010相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	給水管 機械明細013相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	給水管保温材 機械明細014相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	排水管 機械明細017相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	排水管保温材 機械明細018相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	電気温水器 機械明細021相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	給湯管 機械明細022相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	給湯管保温材 機械明細023相当分	積込	1.0	式			
	同上	運搬	1.0	式			
	同上	処分	1.0	式			
	B-b-2. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
C	電気設備工事						
C-a	電気設備工事 補助対象工事		1.0	式			
C-b	電気設備工事 補助対象外工事		1.0	式			
	C-合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
C-a	電気設備工事 補助対象工事						
C-a-1	北校舎1階便所		1.0	式			
	C-a-1. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
C-a-1	北校舎1階便所						
	電線・ケーブル 天井配線	EM-EEF 1.6mm-2C	55.0	m			
	電線・ケーブル 天井配線	EM-EEF 1.6mm-3C	11.0	m			
	電線・ケーブル 天井配線	EM-EEF 2.0mm-3CG	72.0	m			
	電線・ケーブル 天井配線	EM-EEF 2.0mm-3CG 200V	2.0	m			
	アウトレットボックス	埋込四角中浅 102x102x 44 塗代付	6.0	個			
	熱線センサー付自動スイッチ	親機 8A	2.0	台			
	熱線センサー付自動スイッチ	子機 換気扇連動型	2.0	台			
	熱線センサー付自動スイッチ操作ユニット 新金一P	照明・換気扇用	2.0	台			
	埋込コンセント 新金一P	2P15Ax1	2.0	個			
	埋込コンセント 新金一P	2P15Ax2EET	6.0	個			
	カバープレート 新金		2.0	個			
	ノズルプレート 新金		2.0	個			
	1種金属線ぴ (MM1)	B型メタルモール	7.0	m			
	1種金属線ぴ (MM1) 用ボックス	ジャンクションボックス 4角	2.0	個			
	1種金属線ぴ用ボックス	角形1個用	7.0	個			



	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	照明器具 A	LSS9-4-23LN 相等品	6.0	台			
	既設分電盤改修	100Vから200Vへ変更	2.0	回路			
	機器電源接続	ハネルヒーター	2.0	台			
	既設分電盤改修（ブレーカ増設）	2P20A ノーヒューズ遮断器	3.0	台			
	既設照明器具撤去	FL20Wx1	4.0	台			
	既設埋込スイッチ撤去	1P15Ax2+PL	2.0	個			
	既設埋込コンセント撤去	2P15Ax1	2.0	個			
	既設埋込コンセント撤去	接地2P20Ax1 100V(プラグ共)	2.0	個			
	産廃処分費	建築工事計上					
	C-a-1. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
C-b	電気設備工事 補助対象外工事						
C-b-1	北校舎1階水呑場		1.0	式			
	C-b.計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
C-b-1	北校舎1階水呑場						
	ノズルプレート 新金		1.0	個			
	既設分電盤改修	100Vから200Vへ変更 温水器	1.0	回路			
	機器電源接続	温水器 単相200V 2.1KW	1.0	台			
	既存照明器具撤去・再取付	FL20W×1	1.0	台			
	既存自火報感知器撤去・再取付	スポット型	1.0	台			
	C-b-1. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D	機械設備工事						
D-a	機械設備工事 補助対象工事						
D-b	機械設備工事 補助対象外工事						
	D-合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D-a	機械設備工事 補助対象工事						
D-a-1	衛生器具設備工事		1.0	式			
D-a-2	給水設備工事		1.0	式			
D-a-3	排水設備工事		1.0	式			
D-a-4	暖房設備工事		1.0	式			
D-a-5	換気設備工事		1.0	式			
	D-a. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D-a-1	衛生器具設備						
	洋風便器	CFS494BMCK TCF5534 YH650	6.0	台			
	小便器	UFH500 TG600PL T9R	4.0	台			
	人造大理石カウンター(ホール一体型)	ML50C1940CPA13W L505 TLC11AR TLDS2105JTLC4BF MFT3C1934D=NB12W	1.0	台			
	人造大理石カウンター(ホール一体型)	ML45C1940CPA13W L350C TLC11AR TLDS2105JTLC4BF MFT3C1934D=NB12W	1.0	台			
	小便器用手摺り	T112CU22 T110D15	1.0	台			
	化粧鏡	YM4560A	4.0	台			
	手摺り	TS136GLY86	2.0	台			
	器具撤去	機械明細001	1.0	式			
	D-a-1. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D-a-2	給水設備工事						
	給水管	機械明細002	1.0	式			
	水抜栓 三方弁	陸上型 50A	1.0	個			
	電動駆動部	50A	1.0	個			
	吸気弁	15A	1.0	個			
	バタフライ弁	100A	1.0	個			
	ステンフレキ500L	100A	1.0	個			
	保温工事	機械明細003	1.0	式			
	コア抜き	100φ×300L	3.0	箇所			
	コア抜き	80φ×300L	1.0	箇所			
	コア抜き	50φ×300L	14.0	箇所			
	管撤去	機械明細004	1.0	式			
	保温撤去	機械明細005	1.0	式			
	既存管取り合い		2.4	人工			
	仮設水道工事	PPφ30 40m程度 資材 設置撤去6人工	1.0	式			
	受水槽排水・水張作業		2.0	人工			
	D-a-2. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D-a-3	排水設備工事						
	排水管	機械明細006	1.0	式			
	通気管	機械明細007	1.0	式			
	床上掃除口	COA 80A	1.0	個			
	床上掃除口	COA 100A	3.0	個			
	床上掃除口	COA 125A	1.0	個			
	管撤去	機械明細08	1.0	式			
	保温撤去	機械明細09	1.0	式			
	既存管取り合い		3.6	人工			
	コア抜き	80φ×300L	12.0	箇所			
	コア抜き	100φ×300L	14.0	箇所			
	コア抜き	125φ×300L	1.0	箇所			
	コア抜き	150φ×300L	17.0	箇所			
	コア抜き	200φ×300L	1.0	箇所			
	D-a-3ー計						



	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D-a-4	暖房設備工事						
	パネルヒーター 据付費共	1φ200V 1.5kw 壁掛形 いたずら防止装置付	2.0	台			
	パネルヒーター撤去		2.0	台			
	D-a-4. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D-a-5	換気設備工事						
	EF-1壁換気扇 据付費共	25cm 400m <sup>3</sup> /h 電動シャッター ウェザカバー他	2.0	台			
	換気扇撤去		2.0	台			
	D-a-5. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D-b	機械設備工事 補助対象外工事						
D-b-1	衛生器具設備工事		1.0	式			
D-b-2	給水設備工事		1.0	式			
D-b-3	排水設備工事		1.0	式			
D-b-4	給湯設備工事		1.0	式			
	D-b. 小計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D-b-1	衛生器具設備工事						
	掃除流し	SH22A TK22 T23AEQ20C TN114	1.0	台			
	シングルレバー式混合水栓	THTKGG301Z TH5C0212	5.0	台			
	器具撤去	機械明細010	1.0	式			
	D-b-1. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D-b-2	給水設備工事						
	給水管	機械明細011	1	式			
	水抜栓 三方弁	25A	1.0	個			
	電動駆動部 20～25A		1.0	個			
	電動操作盤		1.0	個			
	既設盤、操作線取外し再取付	手間電工1.6人工	1.6	人工			
	吸気弁	15A	1.0	個			
	仕切弁（コア入り）	20A 5k	1.0	個			
	仕切弁（コア入り）	40A 5k	1.0	個			
	仕切弁（コア入り）	50A 5k	1.0	個			
	ステンレキ500L	40A	1.0	個			
	ステンレキ500L	50A	1.0	個			
	保温	機械明細012	1.0	式			
	管撤去	機械明細013	1.0	式			
	保温撤去	機械明細014	1.0	式			
	既存管取り合い		1.8	人工			
	コア抜き	50φ×300L	10.0	箇所			
	D-b-2. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D-b-3	排水設備工事						
	排水管	機械明細015	1.0	式			
	通気管	機械明細016	1.0	式			
	防虫網	40A	1.0	個			
	管撤去	機械明細017	1.0	式			
	保温撤去	機械明細018	1.0	式			
	既存管取り合い		2.4	人工			
	コア抜き	80φ×300L	3.0	箇所			
	コア抜き	100φ×300L	2.0	箇所			
	コア抜き	125φ×300L	2.0	箇所			
	コア抜き	150φ×300L	1.0	箇所			
	D-b-3. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
D-b-4	給湯設備工事						
	電気温水器	150L	1	台			
	給湯管	機械明細019	1.0	式			
	湯抜栓 二方弁	20A	1.0	個			
	電動駆動部 20～25A		1.0	個			
	電動操作盤（給湯用）		1.0	個			
	吸気弁	15A	1.0	個			
	仕切弁（コア入り）	20A	1.0	個			
	保温	機械明細020	1.0	式			
	電気温水器撤去	機械明細021	1.0	式			
	管撤去	機械明細022	1.0	式			
	保温撤去	機械明細023	1.0	式			
	コア抜き	50φ×300L	6.0	箇所			
	D-b-4. 計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	機械設備工事－機械明細						
機械明細 001	衛生器具撤去						
	洋風便器	フラッシュ弁	1.0	台			
	和風便器	フラッシュ弁	5.0	台			
	小便器		4.0	台			
	掃除流し		2.0	台			
	単水栓		8	個			
	合計						
機械明細 002	給水管						
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VB	機械室・便所 20A	23.0	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VB	機械室・便所 25A	12.0	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VB	機械室・便所 32A	4.0	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VB	機械室・便所 40A	4.0	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VB	機械室・便所 50A	11.0	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VB	機械室・便所 100A	27.0	m			
	合計						





	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機械明細 004	給水管撤去						
	鋼管	機械室・便所 20A	17.0	m			
	鋼管	機械室・便所 25A	18.0	m			
	鋼管	機械室・便所 32A	4.0	m			
	鋼管	機械室・便所 50A	14.0	m			
	鋼管	機械室・便所 100A	27.0	m			
	不凍栓	50A	1.0	個			
	駆動部		1.0	個			
	吸気弁	15A	1.0	個			
	バタフライ弁	100A	1.0	個			
	フレキ管	100A	1.0	個			
	合計						
機械明細 005	保温撤去						
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 20A	17.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 25A	18.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 32A	4.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 50A	14.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 100A	27.0	m			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機械明細 006	排水管						
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・ピット 20V	1.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・ピット 50V	20.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・ピット 65V	2.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・ピット 75V	19.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・ピット 100V	28.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・ピット 125V	7.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・PS 75V	2.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・PS 100V	37.0	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管 VB	機械室・便所 40A	1.0	m			
	仕切弁(コア入り)	40A 5K	1.0	個			
	合計						
機械明細 007	通気管						
	硬質塩化ビニル管 VP	機械室・便所・ピット 50V	9.0	m			
	耐熱2層管 TVP	機械室・便所・PS 50V	20.0	m			
	耐熱2層管 TVP	機械室・便所・PS 65V	8.0	m			
	耐熱2層管 TVP	機械室・便所・PS 100V	21.0	m			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機械明細 008	管撤去						
	塩ビ管	機械室・便所 20V	5.0	m			
	塩ビ管	機械室・便所 50V	9.0	m			
	塩ビ管	機械室・便所 65V	1.0	m			
	塩ビ管	機械室・便所 75V	14.0	m			
	塩ビ管	機械室・便所 100V	32.0	m			
	塩ビ管	機械室・便所 125V	12.0	m			
	鉛管	機械室・便所 50A	6.0	m			
	鉛管	機械室・便所 80A	4.0	m			
	床上掃除口	COA 80A	1.0	個			
	床上掃除口	COA 100A	1.0	個			
	床上掃除口	COA 125A	2.0	個			
	鋼管	機械室・便所 40A	1.0	m			
	仕切弁(コ入リ)	40A 5K	1.0	個			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機械明細 009	保温撤去						
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 20A	5.0	m			
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 50A	11.0	m			
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 65A	8.0	m			
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 75A	2.0	m			
	グラスウール保温筒撤去	天井PS内 100A	58.0	m			
	合計						
機械明細 010	衛生器具撤去						
	単水栓		8.0	個			
	混合水栓		1.0	個			
	合計						
機械明細 011	給水管						
	硬質塩化ビニル管 VB	屋内一般 20A	5.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VB	屋内一般 25A	9.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VB	屋内一般 32A	1.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VB	屋内一般 40A	19.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VB	屋内一般 50A	27.0	m			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機械明細 012	保温						
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 20A	5.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 25A	9.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 32A	1.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 40A	19.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 50A	27.0	m			
	合計						
機械明細 013	管撤去						
	鋼管	屋内一般 20A	5.0	m			
	鋼管	屋内一般 25A	9.0	m			
	鋼管	屋内一般 32A	1.0	m			
	鋼管	屋内一般 40A	19.0	m			
	鋼管	屋内一般 50A	27.0	m			
	合計						

	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機械明細 014	保温撤去						
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 20A	5.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 25A	9.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 32A	1.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 40A	19.0	m			
	ポリスチレンホーム保温筒	天井PS内 50A	27.0	m			
	合計						
機械明細 015	排水管						
	硬質塩化ビニル管 VP	屋内一般・ピット 20V	5.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	屋内一般・ピット 40V	1.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	屋内一般・ピット 50V	2.0	m			
	硬質塩化ビニル管 VP	屋内一般・ピット 75V	9.0	m			
	耐熱2層管 TVP	屋内一般・PS 40V	9.0	m			
	耐熱2層管 TVP	屋内一般・PS 75V	11.0	m			
	合計						

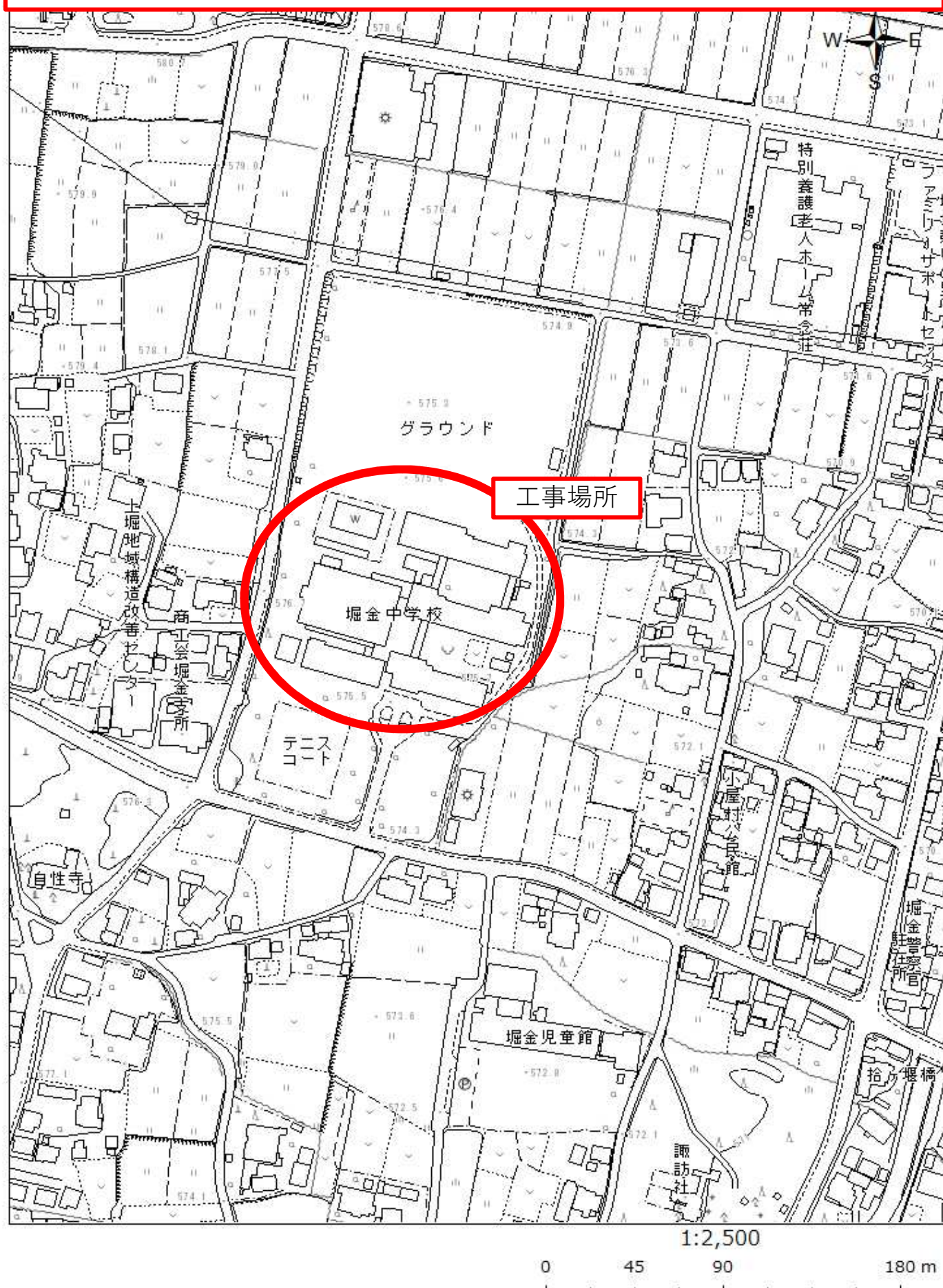
	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機械明細 016	通気管						
	耐熱2層管 TVP	屋内一般・PS 50V	3.0	m			
	耐熱2層管 TVP	屋内一般・PS 75V	4.0	m			
	合計						
機械明細 017	管撤去						
	樹脂管	屋内一般 20V	5.0	m			
	樹脂管	屋内一般 40V	10.0	m			
	樹脂管	屋内一般 50V	5.0	m			
	樹脂管	屋内一般 75V	24.0	m			
	合計						
機械明細 018	保温撤去						
	グラスウール保温筒	屋内一般・PS 40V	9.0	m			
	グラスウール保温筒	屋内一般・PS 75V	11.0	m			
	グラスウール保温筒	屋内一般・PS 50V	3.0	m			
	グラスウール保温筒	屋内一般・PS 75V	4.0	m			
	合計						



	名 称	規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
機械明細 019	給湯管						
	耐熱塩ビライニング鋼管 HVA	屋内一般 20A	8.0	m			
	合計						
機械明細 020	保温						
	グラスウール保温筒 20mm	天井PS内 20A	8.0	m			
	合計						
機械明細 021	電気温水器撤去						
	電気温水器	150L	1.0	台			
	合計						
機械明細 022	管撤去						
	耐熱塩ビライニング鋼管	屋内一般 20A	2.0	m			
	合計						
機械明細 023	保温撤去						
	グラスウール保温筒	天井PS内 20A	2.0	m			
	合計						

# 令和5年度(明許繰越)堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)

## 位置図



# 現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1 工事名称 令和5年度(明許繰越)堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)

2 工事場所 安曇野市 堀金中学校

3 工事概要

北校舎1階のトイレ施設の全面改修

- ・1F生徒用男女トイレ：内装・設備機器及び設備配管共全面改修
- ・1F水飲み場、隣接廊下：内装及び設備機器の部分改修 設備配管全面改修
- ・PS内配管の更新工事

4 工期期間等

(1) 契約工期 契約日 ～ 令和6年10月25日

(2) 水飲み場、廊下部分通行開始日 2学期開始時

(3) その他

※学校側と十分工程打合せをして下記事項を踏まえ工事時期を計画すること。

- ・工事は、令和6年7月13日(土)から令和6年8月21日(水)を中心に行うこと。

【夏休みの期間は、令和6年7月20日(土)から令和6年8月21日(水)】

- ・上記期間で工事が完了しない場合は、8月22日(木)から契約工期内で学校の運営に支障のない時間での工事とすること。

5 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書(案)及び現場説明書(以下「設計図書等」という。))によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話(ただし、指定の問い合わせ先は除く。)等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

6 本工事における特記事項

ア 中学校の夏休み期間を中心に現場の施工を行うこと。夏休み期間でも含め施設を運営しながらの施工となるため、施工期間及び作業時間の調整を行い施工すること。

イ 水飲み場、廊下部分の施工は1学期終了後に施工を開始し、2学期開始日までに科

学物質濃度測定を終え、基準値以下であることを確認したうえで通行できるようにすること。(水飲み場の使用は後日で可、安全を確保し学校関係者が通行できればよい。)

ウ 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は施設管理者と打合せを行い、監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうち施工すること。

エ 学校運営への配慮事項

- ① 学校行事(準備片付も含む)の予定があるため、打合せの上、騒音等に配慮し学校運営に支障がないよう努めること。
- ② 現場引き渡しにあたり、現場引き渡し検査の前に化学物質の濃度測定を行い、結果を報告すること。
- ③ 児童・保護者及び職員の移動動線には十分注意すること。搬入路、仮設足場等は事前に、監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに施工すること。

オ 本工事は、「週休2日工事実施要領」発注者指定型週休2日工事の対象である。  
なお、週休2日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。(工事発注時は4週8休を想定した設計単価で積算している)

## 7 その他

ア 火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、耐火建築物にあつては基礎工事完了時から完成期日後14日まで、木造等非耐火建築物にあつては請負契約後から完成期日後14日まで、設備工事にあつては機械類搬入時から完成期日後14日までとする。

イ 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、下記の「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

## 特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

### 1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明書に定める保険に加入しなければならない。  
加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

### 2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

### 3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

### 4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

### 5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

### 6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

- ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
- ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

### 7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

## 8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

## 9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

## 10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て

等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

#### 11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。  
なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

#### 12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

#### 13. セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について

- (1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。
- (2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。
- (3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。

#### 14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1)石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報



告を行う。工事発注前に市で実施したアスベスト調査資料については、受注者へ資料提供を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

#### 15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

#### 16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

#### 17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

#### 18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。



ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

#### 19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

#### 20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

#### 21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

#### 22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する  
ことができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、  
この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

#### 23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

令和5年度（明許繰越）

堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事（Ⅲ期）

令和6年3月

令和5年度（明許繰越）堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事（Ⅲ期）

（建築工事）

図面リスト

	図面番号	図面名	S C A L E			図面番号	図面名	S C A L E			図面番号	図面名	S C A L E			図面番号	図面名	S C A L E	
			A 1	A 3				A 1	A 3				A 1	A 3				A 1	A 3
建築主体工事（意匠図）	A－00	表紙	Non	Non	建築主体工事（意匠図）					電気設備工事	E－01	電気設備工事特記仕様書	Non	Non	機械設備工事	M－01	機械設備工事特記仕様書	Non	Non
	A－01	図面リスト	Non	Non							E－02	電灯・コンセント設備図	1/50	1/100		M－02	機器器具表	Non	Non
	A－02	工事区分表	Non	Non												M－03	給排水系統図 改修	Non	Non
	A－03	特記仕様書(1)	Non	Non												M－04	1階給排水平面図 改修	1/200	1/400
	A－04	特記仕様書(2)	Non	Non												M－05	2階給排水平面図 改修	1/200	1/400
	A－05	特記仕様書(3)	Non	Non												M－06	3階給排水平面図 改修	1/200	1/400
	A－06	特記仕様書(4)	Non	Non												M－07	給排水設備平面図 改修	1/50	1/100
	A－07	解体工事特記仕様書	Non	Non												M－08	暖房・換気設備平面図 改修	1/50	1/100
	A－08	工事概要・求積図・仕上表	1/100	1/200												M－09	外部・1階給排水配管図 既設	1/200	1/400
	A－09	案内図・全体配置図・配置図	Non	Non												M－10	2階給排水配管図 既設	1/200	1/400
	A－10	全体平面図・仮設計画図 1階	1/200	1/400												M－11	3階給排水配管図 既設	1/200	1/400
	A－11	全体平面図・仮設計画図 2階	1/200	1/400												M－12	給排水設備平面図 現況	1/50	1/100
	A－12	全体平面図・仮設計画図 3階	1/200	1/400												M－13	暖房・換気設備平面図 現況	1/50	1/100
	A－13	平面詳細図 現況 改修	1/50	1/100															
	A－14	立面図・断面詳細図 改修	図示	図示															
	A－15	天井伏図 現況 改修	1/50	1/100	建築主体工事（構造図）														
	A－16	展開図(1) 現況	1/50	1/100															
	A－17	展開図(1) 改修	1/50	1/100															
	A－18	建具表	1/50	1/100															
	A－19	トイレブース 平面図・断面詳細図	1/50	1/100															
	A－20	トイレブース 展開図	1/50	1/100															
	A－21	部分詳細図	1/5	1/10															
	A－22																		
	A－23																		
	A－24																		
	A－25																		
	A－26																		
	A－27																		
	A－28																		
	A－29																		
	A－30																		

工事区分表																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
項 目				A	E	M	別		備 考	項 目				A	E	M	別		備 考	項 目				A	E	M	別		備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 躯体関係										○ 仕上げ関係										○ 屋外排水設備・外構										○ 共通事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1. R C造（梁・壁・床） の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け			○	○				特記なき限り 各工事分担による	1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び 下地の補強							特記なき限り 各工事分担による	1. 雨水	屋外雨水排水設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					



8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1. 建築用 コンクリートブロック	補強コンクリートブロック造 ※空調ブロック16 ・空調ブロック16-W (8.2.2)	4. 床及び階段の石張り	床石張りの裏面処理 ※行わない ・行う (10.6.2)	14 金属工事	2. 7mm以下及び7mm以上合金の表面処理	種 類 ※H L 程度 ・No. 2B程度 ・鏡面仕上げ (14.2.1)	16 建具工事	1. 見本の製作等	・特殊な建具の仮組（建具番号： ) (16.1.4)
	2. ALCパネル	帳壁及び端 ※標仕表8.3.1及び下表による ・ (8.3.2)	11 タイル工事	1. 陶磁器質タイル	15 左官工事	3. 鉄の重鉛めつき	種 別 ・B-1種（無着色） ・B-2種（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー） (14.2.2) (表14.2.1)	7. 7mm以上製建具	2. 防犯建物部品	・適用あり (16.1.6)
3. 押出成形セメント板 (ECP)	3. 押出成形セメント板 (ECP)	種 類 ・外壁パネル ・間仕切パネル ・屋根パネル ・床パネル (8.4.2~8.4.6) (表8.4.2) (表8.4.3)	12 木工事	2. 張り付け用材料		5. 金属成形板張り	表面処理方法 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 (14.2.3) (表14.2.2)		3. 7mm以上製建具	・適用あり (16.1.6)
9 防水工事	1. アスファルト防水	種 別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・ (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9.2.8)		3. 壁タイル張りの工法	16 電気工事	6. 7mm以上製窓木	天井のふところ等が屋内1.5m以上、屋外が1.0m以上の場合の補強 ※標仕14.4.4による補強 ・図示 (14.4.4)	8. 8mm以上製建具	4. 網戸	・適用あり (16.1.6)
	2. 改質アスファルトシート防水	種 別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・ (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9.2.8)	13 屋根及びふた工事	4. 陶磁器質タイル 型枠先付け工法		7. 手すり及びタラップ	電気重鉛めつき ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 (14.2.3) (表14.2.2)		5. 鋼製建具	・適用あり (16.1.6)
10 石工事	3. 合成高分子系 ルフィングシート防水	種 別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・ (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9.2.8)	14 瓦工事	5. 防虫・防蟻処理	17 塗装工事	8. 8mm以上製窓木	耐火性能 ・有り（ ） ・無し (8.4.3)	9. 9mm以上製建具	6. 鋼製軽量建具	・適用あり (16.1.6)
	4. 塗膜防水	種 別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・ (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9.2.8)	15 鉄骨工事	6. 防虫処理		9. 9mm以上製窓木	耐火性能 ・有り（ ） ・無し (8.4.3)		7. 鋼製軽量建具	・適用あり (16.1.6)
11 その他	5. シーリング	種 別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・ (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9.2.8)	16 鉄骨工事	7. 床板張り	18 その他	10. 10mm以上製窓木	耐火性能 ・有り（ ） ・無し (8.4.3)	10. 10mm以上製建具	8. 鋼製軽量建具	・適用あり (16.1.6)
	6. テラゾ張り	種 別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・ (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9.2.8)	17 鉄骨工事	8. 床板張り		11. 11mm以上製窓木	耐火性能 ・有り（ ） ・無し (8.4.3)		9. 鋼製軽量建具	・適用あり (16.1.6)
12 その他	7. 壁の石張り工法	種 別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・ (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9.2.8)	18 鉄骨工事	9. 床板張り	19 その他	12. 12mm以上製窓木	耐火性能 ・有り（ ） ・無し (8.4.3)	11. 11mm以上製建具	10. 鋼製軽量建具	・適用あり (16.1.6)
	8. 壁の石張り工法	種 別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・ (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9.2.8)	19 鉄骨工事	10. 床板張り		13. 13mm以上製窓木	耐火性能 ・有り（ ） ・無し (8.4.3)		11. 鋼製軽量建具	・適用あり (16.1.6)
13 その他	9. 壁の石張り工法	種 別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・ (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9.2.8)	20 鉄骨工事	11. 床板張り	20 その他	14. 14mm以上製窓木	耐火性能 ・有り（ ） ・無し (8.4.3)	12. 12mm以上製建具	12. 鋼製軽量建具	・適用あり (16.1.6)
	10. 壁の石張り工法	種 別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・ (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9.2.8)	21 鉄骨工事	12. 床板張り		15. 15mm以上製窓木	耐火性能 ・有り（ ） ・無し (8.4.3)		13. 鋼製軽量建具	・適用あり (16.1.6)
14 その他	11. 壁の石張り工法	種 別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・ (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9.2.8)	22 鉄骨工事	13. 床板張り	21 その他	16. 16mm以上製窓木	耐火性能 ・有り（ ） ・無し (8.4.3)	13. 13mm以上製建具	14. 鋼製軽量建具	・適用あり (16.1.6)
	12. 壁の石張り工法	種 別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・ (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9.2.8)	23 鉄骨工事	14. 床板張り		17. 17mm以上製窓木	耐火性能 ・有り（ ） ・無し (8.4.3)		15. 鋼製軽量建具	・適用あり (16.1.6)
15 その他	13. 壁の石張り工法	種 別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・ (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9.2.8)	24 鉄骨工事	15. 床板張り	22 その他	18. 18mm以上製窓木	耐火性能 ・有り（ ） ・無し (8.4.3)	14. 14mm以上製建具	16. 鋼製軽量建具	・適用あり (16.1.6)
	14. 壁の石張り工法	種 別 ※A1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・ (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~9.2.8)	25 鉄骨工事	16. 床板張り		19. 19mm				

[illegible]







● 工事概要 (詳細は各階平面図他図面記載による)

工事名称	令和5年度（明許繰越）堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事（Ⅲ期）
工事場所	安曇野市堀金島川1212
主要用途	中学校
工事種別	改修（北校舎1階 生徒使用トイレ設備の改修 機器類・配管類全面改修工事 併う建築改修工事）
敷地面積	34.921.00 m <sup>2</sup>
用途地域	都市計画区域内（区域区分非設定）
防火地域	指定なし
建ぺい率	60%
容積率	200%
工事内容	※本工事において建築物の新築・増築は生じない ○北校舎1階のトイレ施設の全面改修

● 全体面積表

• 敷地面積	34,921.00㎡	
• 建築面積	既存建物 7,655.14㎡	
	計画建物(新築) 0.00㎡	
	合計 5,309.22㎡	
• 建築率	15.21%	
• 延床面積	既存建物 7,655.14㎡	< 60%
• 容積率	計画建物(新築) 0.00	
• 延床面積	合計 7,655.14㎡	
• 容積率	21.93%	< 200%



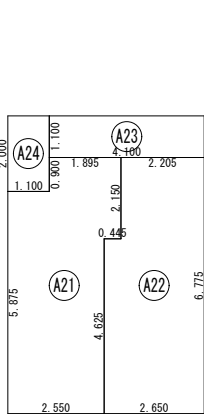
## ■法規チェック

・ 建築基準法  
本工事における増築なし  
工事対象部分に居室なし  
採光・換気・排煙の検討 施行令第126条の2 1項2号により対象外

・消防法  
対象部分の既存警報器その他消防関連設備はすべて一時撤去、復旧とする  
現況設備の新設、増設の必要なし  
(松本広域消防豊科署予防担当との協議済 2017/02/13)

工期	部位	棟名	階数	室名	面積表 No	床面積計算	端数処理後	補助 対象 (●印)	補助対象面積	補助対象外面積
Ⅱ 期工事	施工部分	北校舎	1 階	男子便所	A21	17.243000	17.24	●	17.24	
				女子便所	A22	16.997000	17.00	●	17.00	
				便所前室	A23	4.510000	4.51	●	4.51	
				便所 P S	A24	2.200000	2.20	●	2.20	
				水飲場	A25	6.335800	6.34			6.34
				水飲場 P S	A26	1.169200	1.17			1.17
			2 階	男子便所	A27	17.243000	<del>17.24</del>			
				女子便所	A28	16.997000	<del>17.00</del>			
				便所前室	A29	4.510000	<del>4.51</del>			
				便所 P S	A30	2.200000	2.20	●	2.20	
				水飲場	A31	6.335800	<del>6.34</del>			
				水飲場 P S	A32	1.169200	1.17			
			3 階	男子便所	A33	16.508625	<del>16.51</del>			1.17
				女子便所	A34	16.997000	<del>17.00</del>			
				便所前室	A35	4.510000	<del>4.51</del>			
				便所 P S	A36	1.950000	1.95	●	1.95	
				水飲場	A37	6.335800	<del>6.34</del>			
				水飲場 P S	A38	1.169200	1.17			1.17
			PH階	受水槽室	A41	27.139950	27.14			27.14
			小計				面積比率	100.00%		45.10
	仮設部分	北校舎	1 階	便所周囲-階段室	a5	124.229600	124.22			124.22
			2 階	便所周囲-階段室	b3	88.014100	88.01			88.01
			3 階	便所周囲-階段室	c1	97.114100	97.11			97.11
			小計				309.34		0.00	309.34
		合計					391.43		45.10	346.33

※仮設部分の求積図は各階平面図に記載



北校舎 1 階

1.580	(A25)	1.580	(A26)
	4.010		0.740

北校舎 1 階男子便所			
	形状	計算式	面積
A21	領域	17.243000	17.243000
面積		計 (m <sup>2</sup> )	17.243000

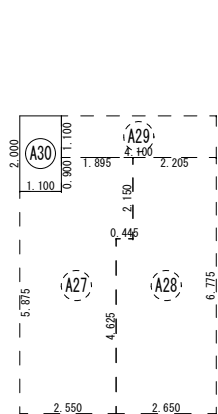
北校舎 1 階女子便所			
	形 状	計 算 式	面 積
A22	領域	16.997000	16.997000
	面 積	計 (m <sup>2</sup> )	16.997000

北校舍 1 階廁所前室		
	形 狀	計 算 式
A23	矩形	$4.100 \times 1.100$
面 積		計 (m <sup>2</sup> )
		4.51000

北校舍 1 階便所 P S			
	形 狀	計 算 式	面 積
A24	矩形	$1.100 \times 2.000$	2.20000
面 積 計 (m <sup>2</sup> )			2.20000

北校舍 1 階水飲場			
	形 状	計 算 式	面 積
A25	矩形	$4.010 \times 1.580$	6.33580
面 積 計 (m <sup>2</sup> )			6.33580

北校舍 1 階水飲場 P S			
	形 狀	計 算 式	面 積
A26	矩形	$0.740 \times 1.580$	1.16920
面 積 計 (m <sup>2</sup> )			1.16920



北校舎 2 階

	A31		A32	
	4.010	1.580	0.740	

北校舍 2 階男子便所			
	形 状	計 算 式	面 積
A27	領域	17.243000	17.243000
	面 積	計 (m <sup>2</sup> )	17.243000

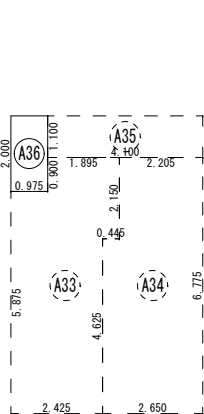
北校舎2階女子便所			
	形状	計算式	面積
A28	領域	16.997000	16.997000
	面積	計(m <sup>2</sup> )	16.997000

北校舍 2 階便所前室			
	形 状	計 算 式	面 積
A29	矩形	$4.100 \times 1.100$	4.5100
	面 積	計 (m <sup>2</sup> )	4.5100

北校舍 2 階便所前室			
	形 状	計 算 式	面 積
A30	矩形	$1.100 \times 2.000$	2.2000
面 積 計 (m <sup>2</sup> )			2.2000

北校舍 2 階水飲場			
	形 状	計 算 式	面 積
A31	矩形	$4.010 \times 1.580$	6.3358
	面 積	計 (m <sup>2</sup> )	6.3358

北校舍 2 階水飲場 P S			
	形 狀	計 算 式	面 積
A32	矩形	$0.740 \times 1.580$	1.1692
	面 積	計 (m <sup>2</sup> )	1.1692



北校舎 3 階

[illegible]

北校舍3階男子便所			
	形 状	計 算 式	面 積
A33	領域	16.508625	16.508625
	面 積	計 (m <sup>2</sup> )	16.508625

北校舍3階女子便所			
	形状	計算式	面積
A34	領域	16.997000	16.997000
	面積	計(m <sup>2</sup> )	16.997000

北校舍 3 階廁所前室			
	形 狀	計 算 式	面 積
A35	矩形	$4.100 \times 1.100$	4.5100
面 積 計 (m <sup>2</sup> )			4.5100

北校舍3階便所PS			
	形状	計算式	面積
A36	矩形	$0.975 \times 2.000$	1.9500
面積		計(m <sup>2</sup> )	1.9500

北校舎 3 階水飲場			
	形 状	計 算 式	面 積
A37	矩形	$4.010 \times 1.580$	6.3358
	面 積	計 (㎡)	6.3358

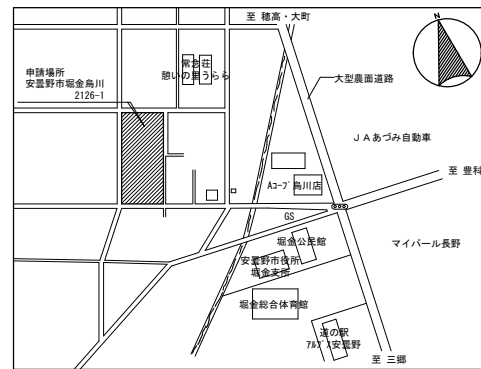
北校舍 3 階水飲場 P S			
	形 狀	計 算 式	面 積
A38	矩形	$0.740 \times 1.580$	1.1692
面 積 計 (m <sup>2</sup> )			1.1692

内部仕上表 II 期

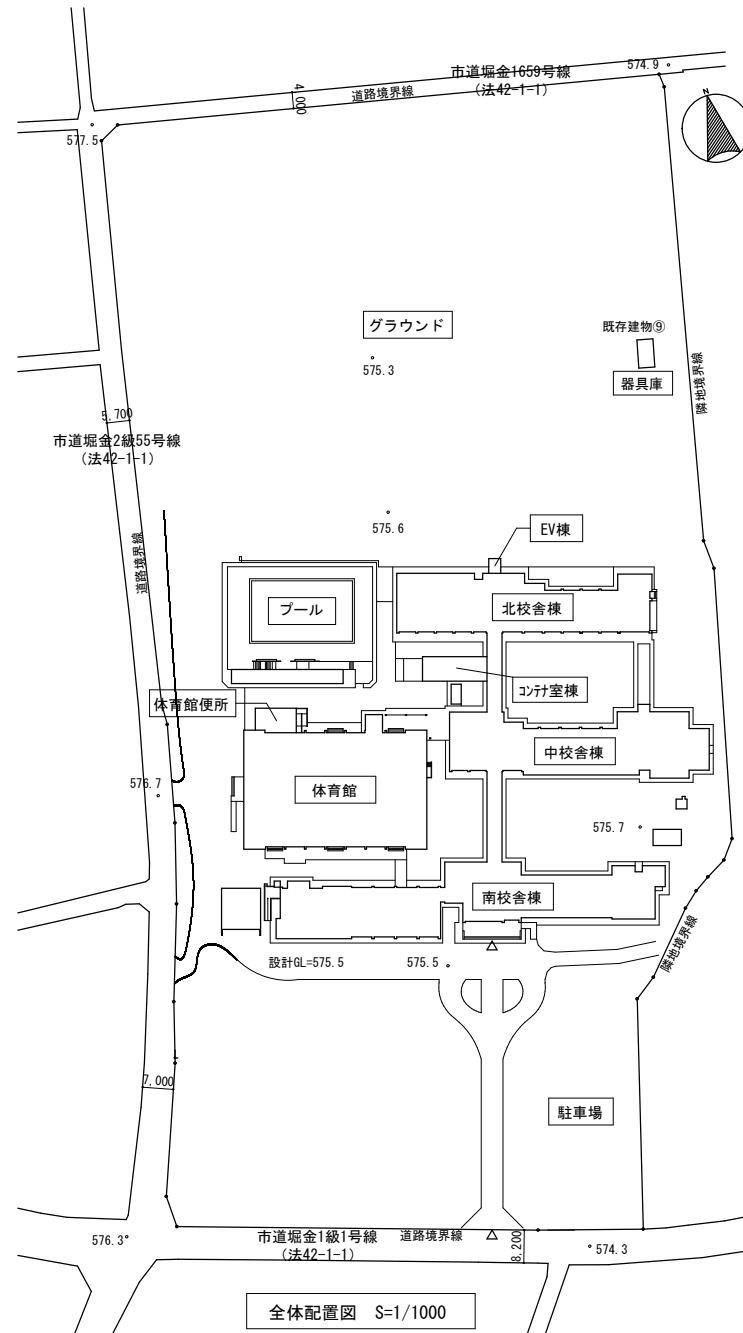
校名	階数	室名	区分	床	FL高	巾木	巾木高	腰壁	壁	壁上部	廻り縁	天井	天井高	備考		
北校舎	1階	男子便所	現況	磁器質タイル タイル下地	-50	なし	巾木部タイル張り	／	磁器質タイル タイル下地	タイル金目塗装 ガラス嵌込間仕切り	770c	タイル板+EP塗装 LGS下地	撤去 撤去吊钩跡残シ	2500	太・小便器/トイレノズル撤去 手洗い・掃除用流し/建具・移撤去	
			改修	長尺塩ビシート タイル下地 接着剤塗布	±0	床材立上	100	／	不燃化粧板 耐水石膏ボード	タイル薄塗調整 ガラス部分LGS下地	770c 新設	タイル板+EP塗装 LGS下地設置	撤去 撤去吊钩跡残シ	2450	便器撤去跡床コンクリート補修 入口建具新設/窓カバー工法施工 衛生設備機器/換気扇/エアコン新設 /床汚垂れ石	
		女子便所	現況	磁器質タイル タイル下地	-50	なし	巾木部タイル張り	／	磁器質タイル タイル下地	タイル金目塗装 ガラス嵌込間仕切り	770c	タイル板+EP塗装 LGS下地	撤去 撤去吊钩跡残シ	2500	衛生設備機器/換気扇/エアコン新設 /床汚垂れ石	
			改修	長尺塩ビシート タイル下地 接着剤塗布	±0	床材立上	100	／	不燃化粧板 耐水石膏ボード	タイル薄塗調整 ガラス部分LGS下地	770c 新設	タイル板+EP塗装 LGS下地新設	撤去 撤去吊钩跡残シ	2450	大便器/トイレノズル撤去 手洗い・掃除用流し/建具・移撤去 便器撤去跡床コンクリート補修 入口建具新設/窓カバー工法施工 衛生設備機器/換気扇/エアコン新設	
		便所前室 廊下	現況	カーペット敷 タイル金目	±0	なし	-	／	R/C打放し	／	770c	化粧石膏ボード LGS下地	撤去 撤去吊钩跡残シ	2450	-	
			改修	カーペット新設 下地処理防塵塗装	±0	なし	-	／	R/C打放し	／	770c 新設	化粧石膏ボード LGS下地新設	撤去 撤去吊钩跡残シ	2450	SK用ドア新設	
		水飲み場	現況	長尺塩ビシート タイル金目	±0	木製	100	／	タイル板+SOP塗装	／	770c	タイル板+EP塗装 LGS下地	-	2450	-	
			改修	長尺塩ビシート張替 下地処理	±0	SOP再塗装 下地処理	100	／	SOP再塗装 下地処理	PS扉SOP再塗装 下地処理	既存のまま	EP再塗装 下地処理	-	2450	サインボード板金改修 窓枠SOP再塗装	
	2階	男子便所														
		女子便所														
		便所前室 廊下														
		水飲み場														
	3階	男子便所														
		女子便所														
		便所前室 廊下														
		水飲み場														

仕上表特記 上段：仕上 下段：下地 を示す  
使用材料はすべてF☆☆☆☆とする、

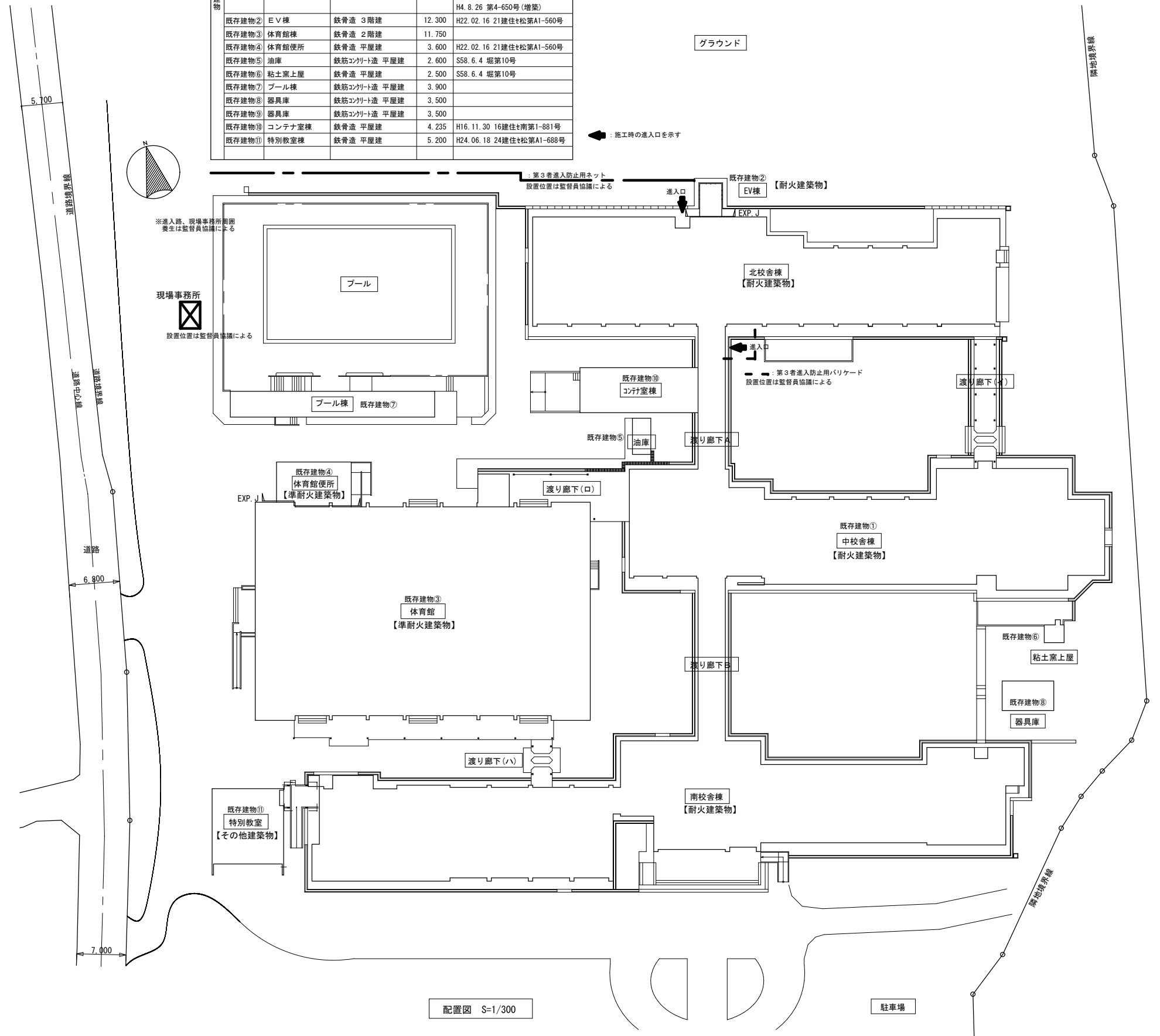
■参考 不燃化粧板 : メラミン不燃化粧板 アイカ セール同等品  
トイレブース : 高圧樹脂メラミン化粧板 小松カウル サニTB-GP型同等品  
汚垂れ石 : セミック内装防汚陶板 TOTO ハイドレタ707PU薄型同等品



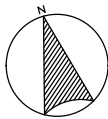
案内図



記号	建物名称	構造規模	高さ (m)	確認申請
既存建物①	校舎棟	鉄筋コンクリート造 3階建	14.950	S58.6.4 堀第10号 H4.8.26 第4-650号 (増築)
既存建物②	EⅤ棟	鉄骨造 3階建	12.300	H22.02.16 21建住宅松第A1-560号
既存建物③	体育館棟	鉄骨造 2階建	11.750	
既存建物④	体育館便所	鉄骨造 平屋建	3.600	H22.02.16 21建住宅松第A1-560号
既存建物⑤	油庫	鉄筋コンクリート造 平屋建	2.600	S58.6.4 堀第10号
既存建物⑥	粘土窯上屋	鉄骨造 平屋建	2.500	S58.6.4 堀第10号
既存建物⑦	プール棟	鉄筋コンクリート造 平屋建	3.900	
既存建物⑧	器具庫	鉄筋コンクリート造 平屋建	3.500	
既存建物⑨	器具庫	鉄筋コンクリート造 平屋建	3.500	
既存建物⑩	コンテナ室棟	鉄骨造 平屋建	4.235	H16.11.30 16建住宅南第1-881号
既存建物⑪	特別教室棟	鉄骨造 平屋建	5.200	H24.06.18 24建住宅松第A1-688号



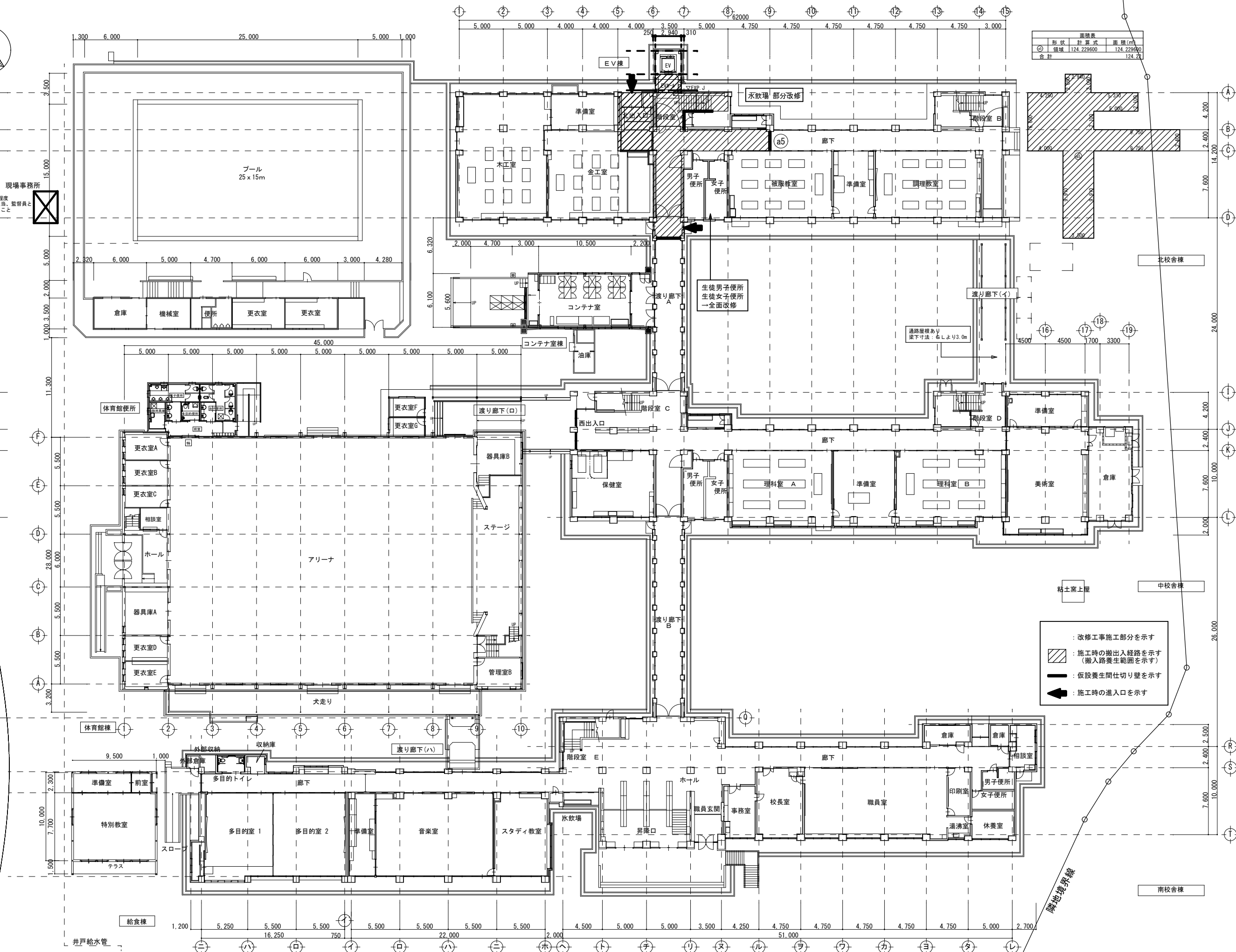
道路境界線



現場事務所

3.6×2.7×2階 程度  
設置場所は学校担当、監督員と  
協議の上決定すること

面積表		
形状	計算式	面積(m <sup>2</sup> )
① 領域	124.229600	124.229600
合計		124.23



- : 改修工事施工部分を示す
- : 施工時の搬入経路を示す  
(搬入路養生範囲を示す)
- : 仮設養生間仕切り壁を示す
- : 施工時の進入口を示す



安曇野市

担当

工事名称

令和5年度(明許繰越)  
堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)

図面名称

全体平面図・仮設計画図 1階

NO.

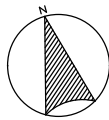
A-10

縮尺

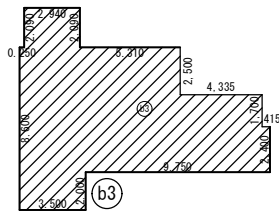
A1:1/200 A3:1/400

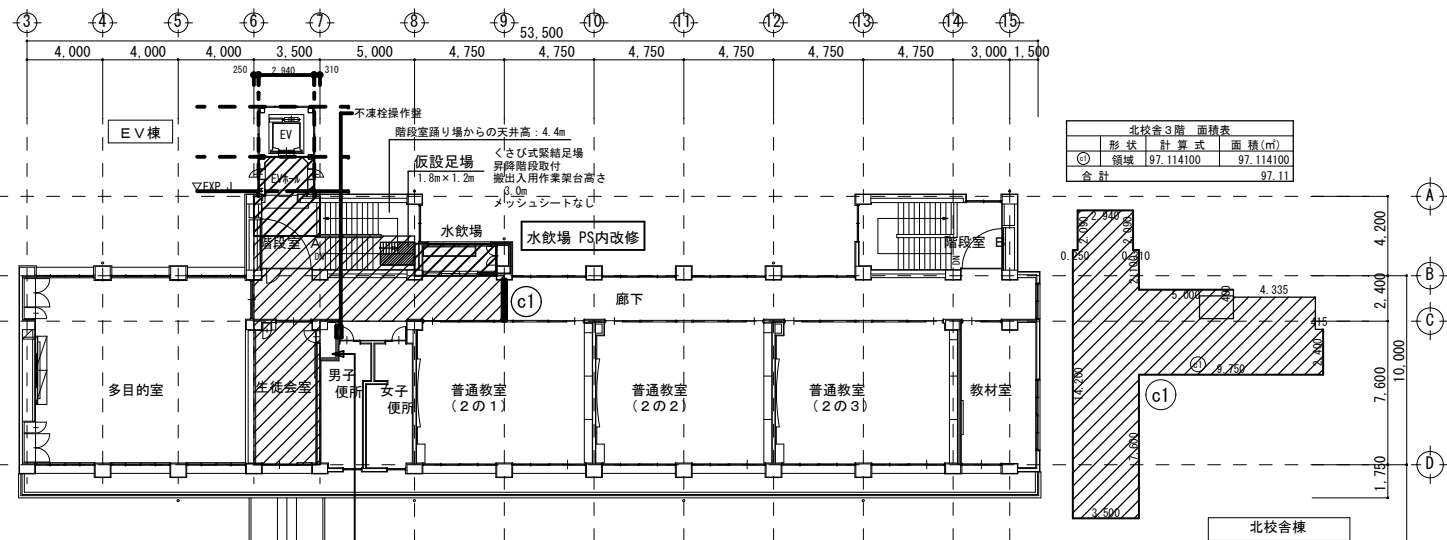
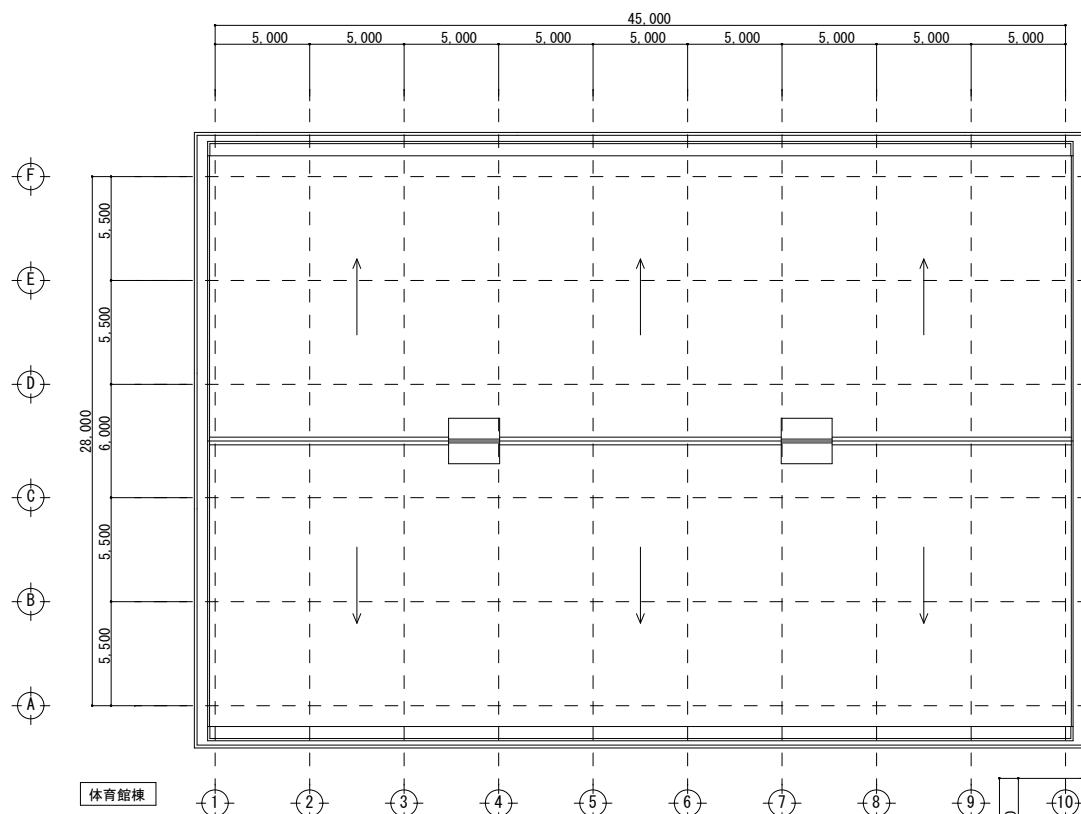
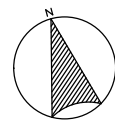
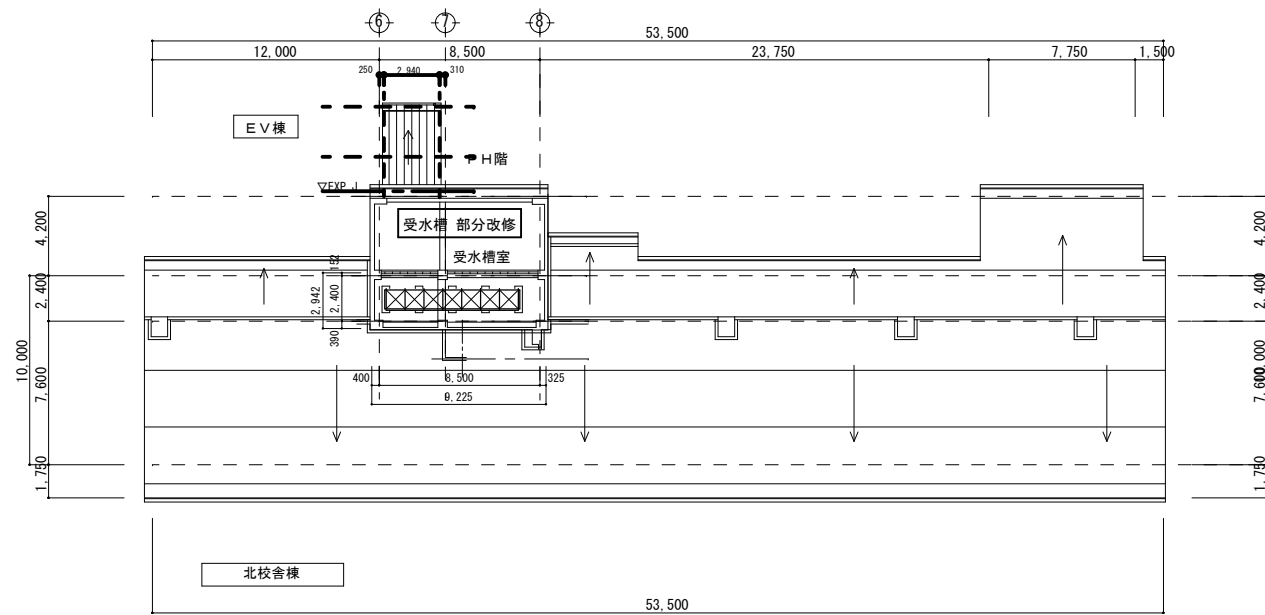
日付

2024/03/29

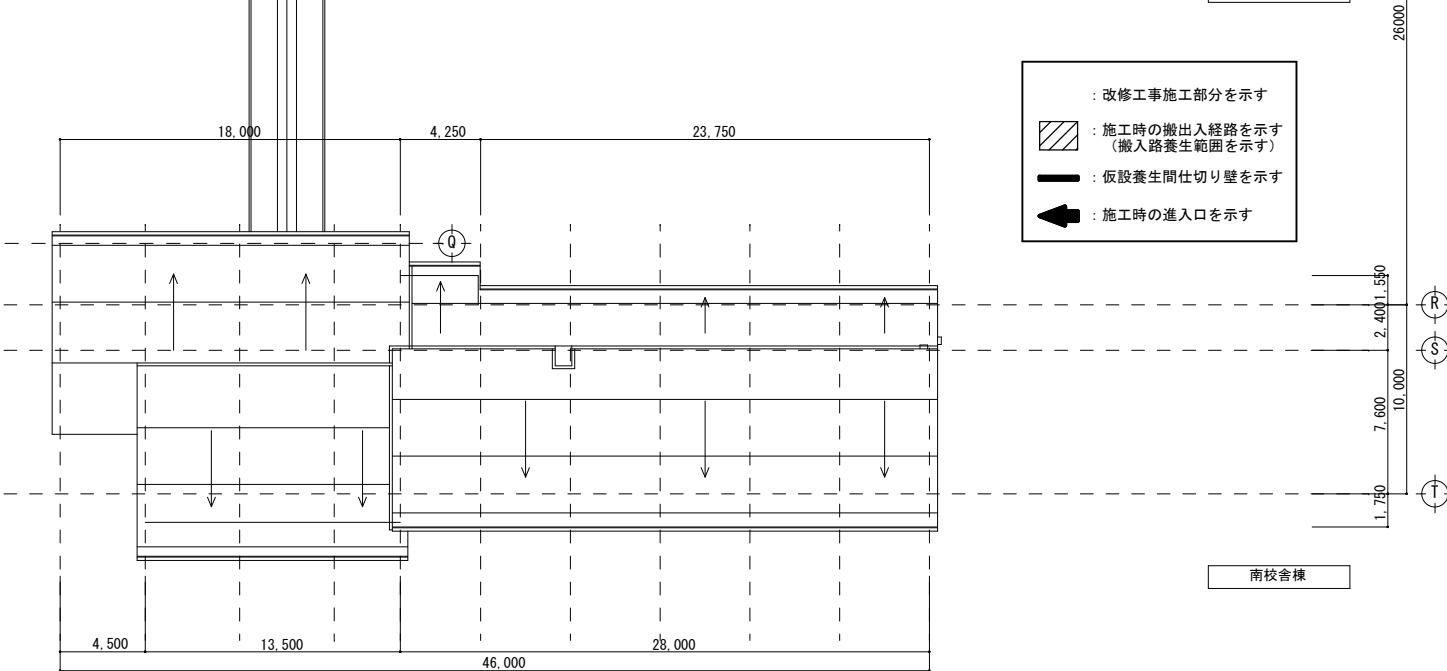
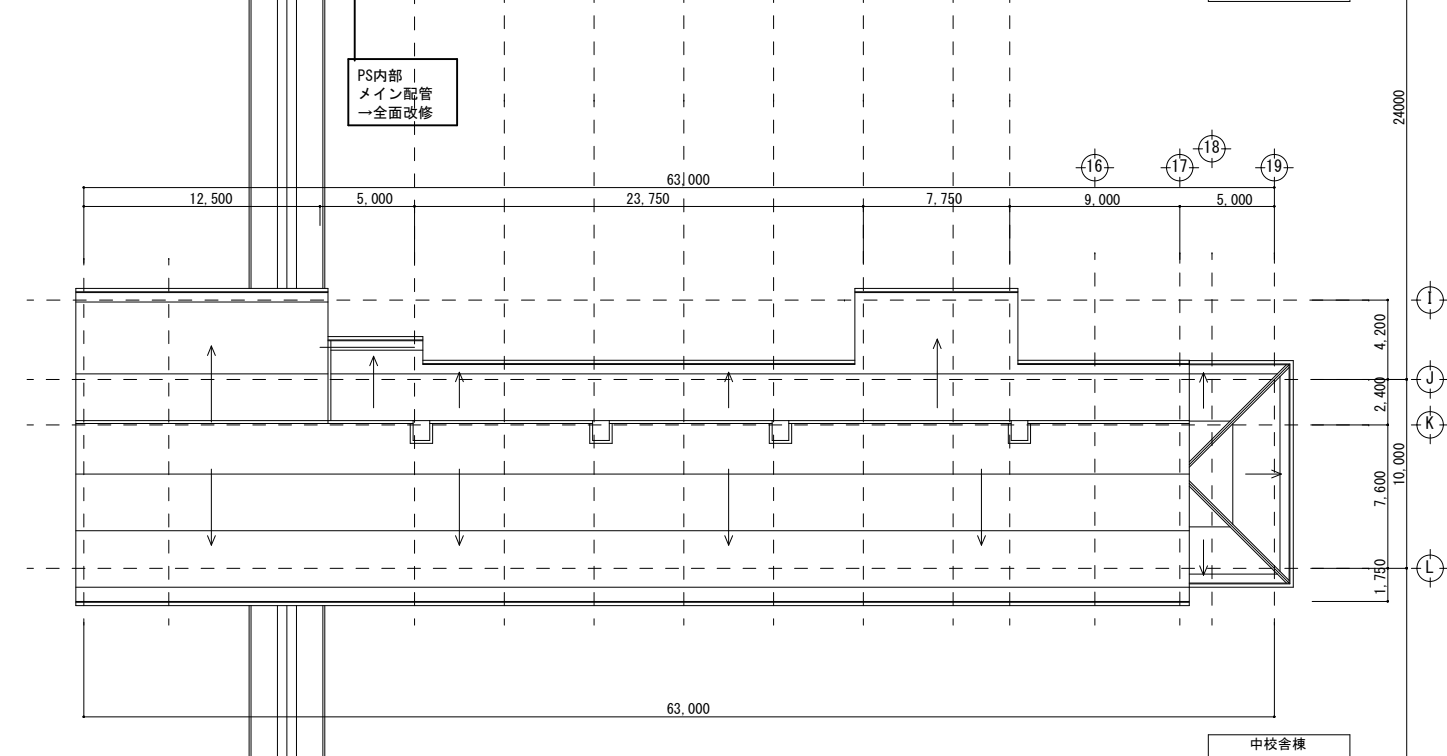


北校舎2階 面積表			
形状	計算式	面積(m <sup>2</sup> )	
⑤	領域	88.014100	88.014100
合計			88.01

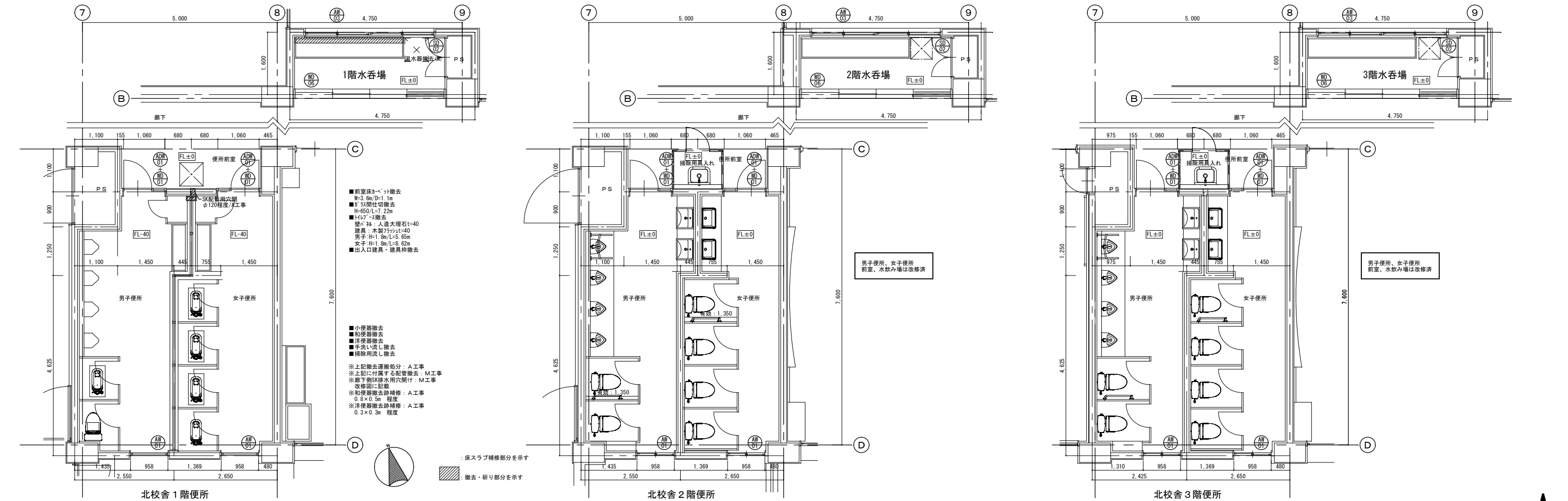




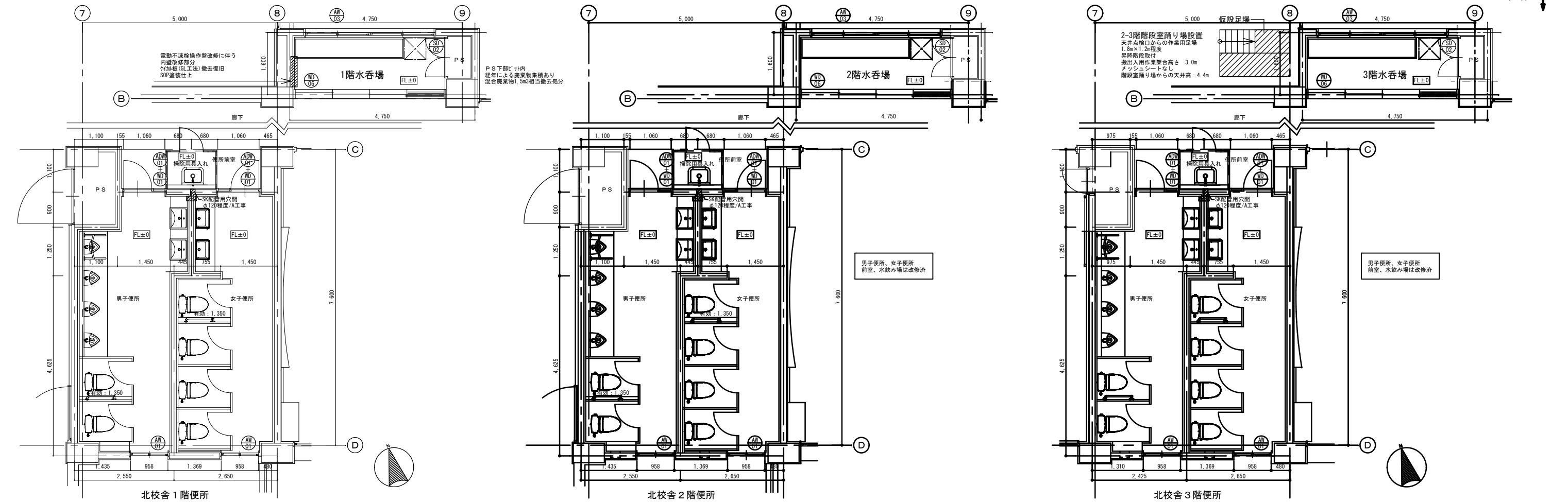
北校舎3階 面積表		
形状	計 算 式	面 積 (㎡)
①	領域	97.114100
合計		97.11

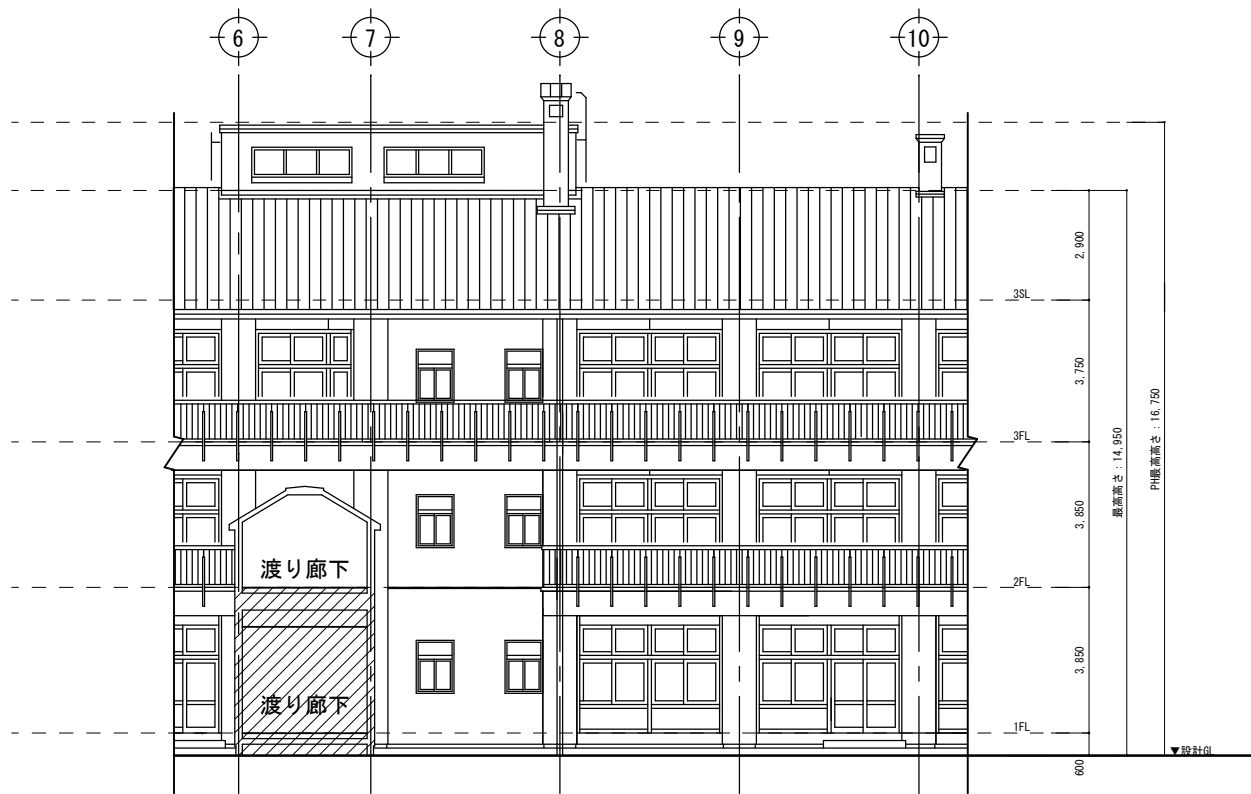


- : 改修工事施工部分を示す
- : 施工時の搬出入経路を示す (搬入路養生範囲を示す)
- : 仮設養生間仕切り壁を示す
- : 施工時の進入口を示す

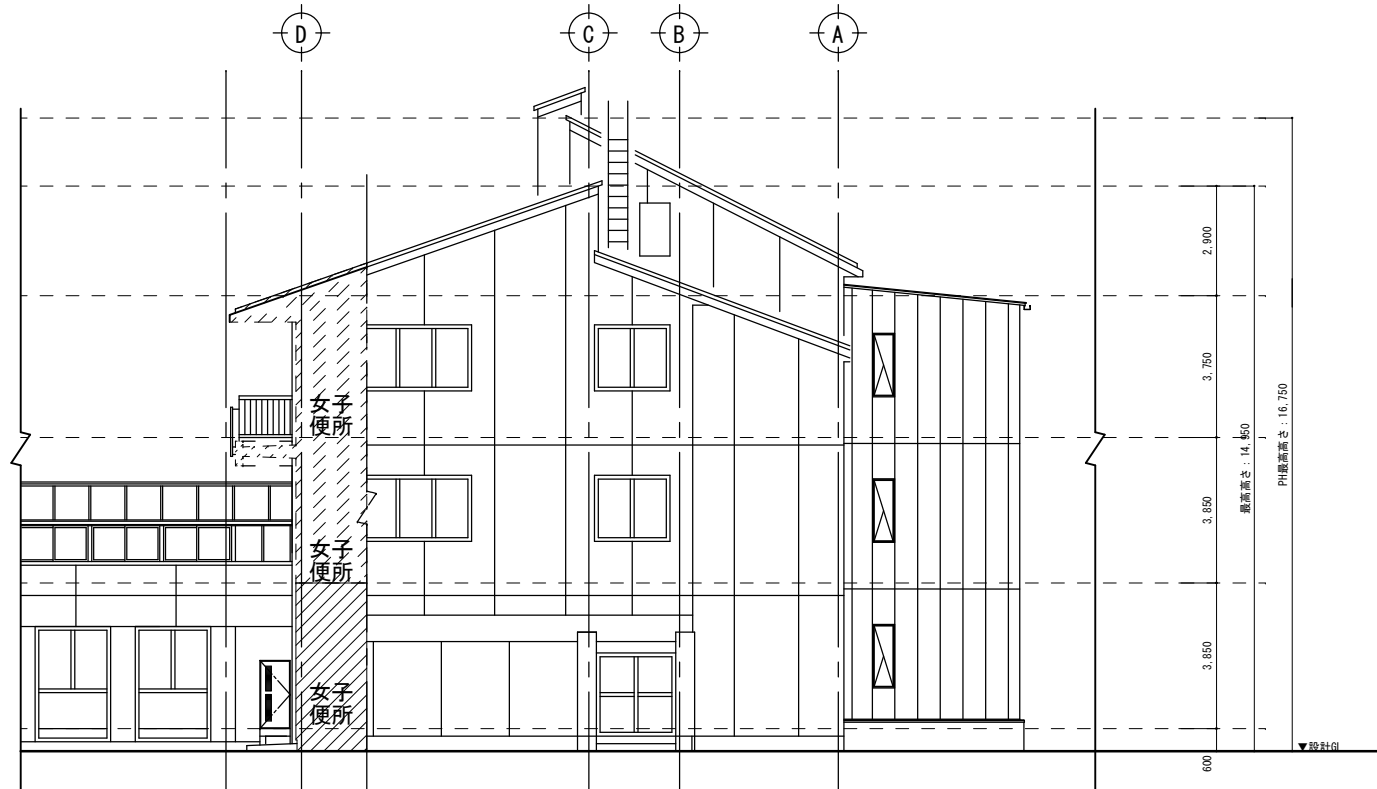


現況  
改修

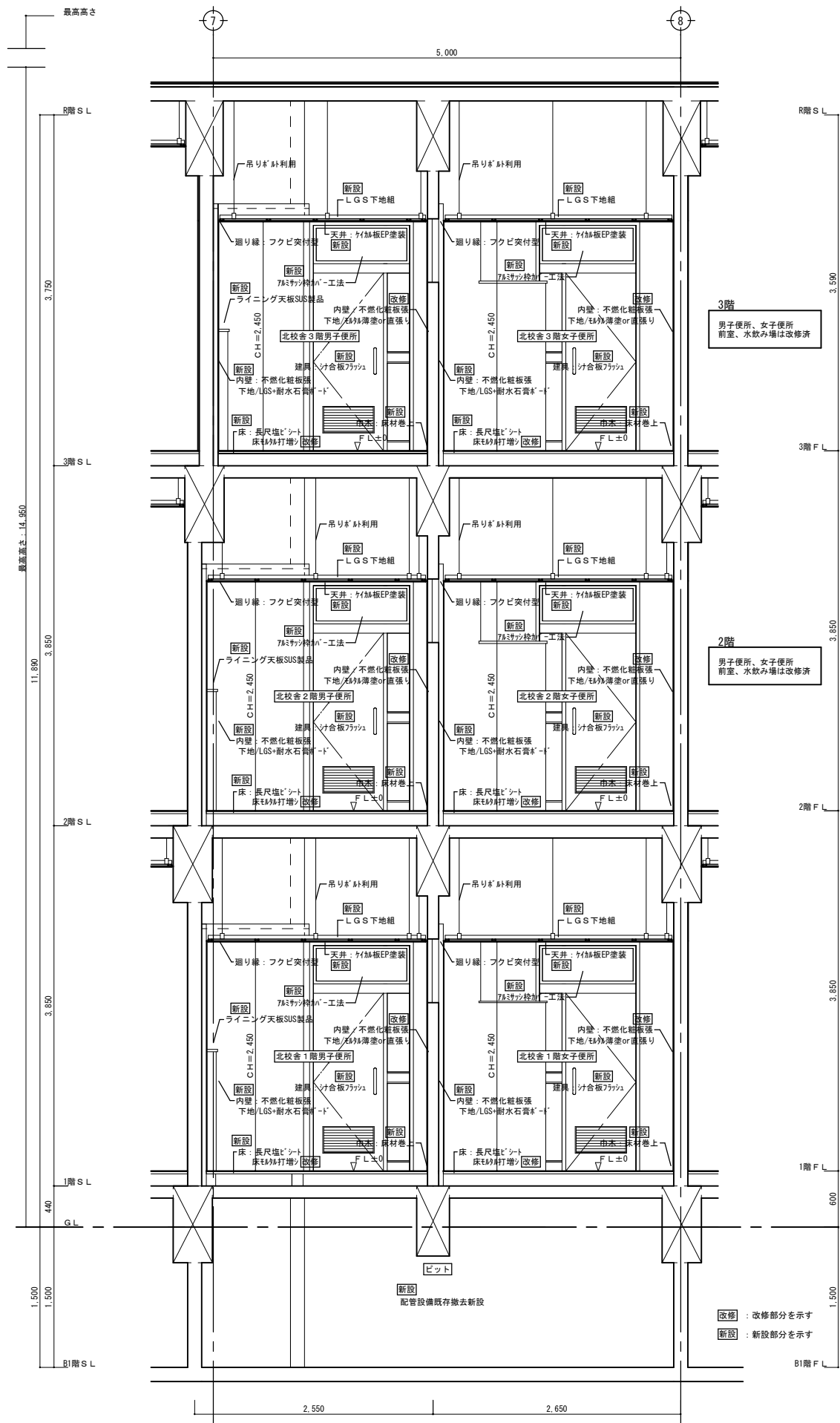




参考図  
南側立面図 S:1/100

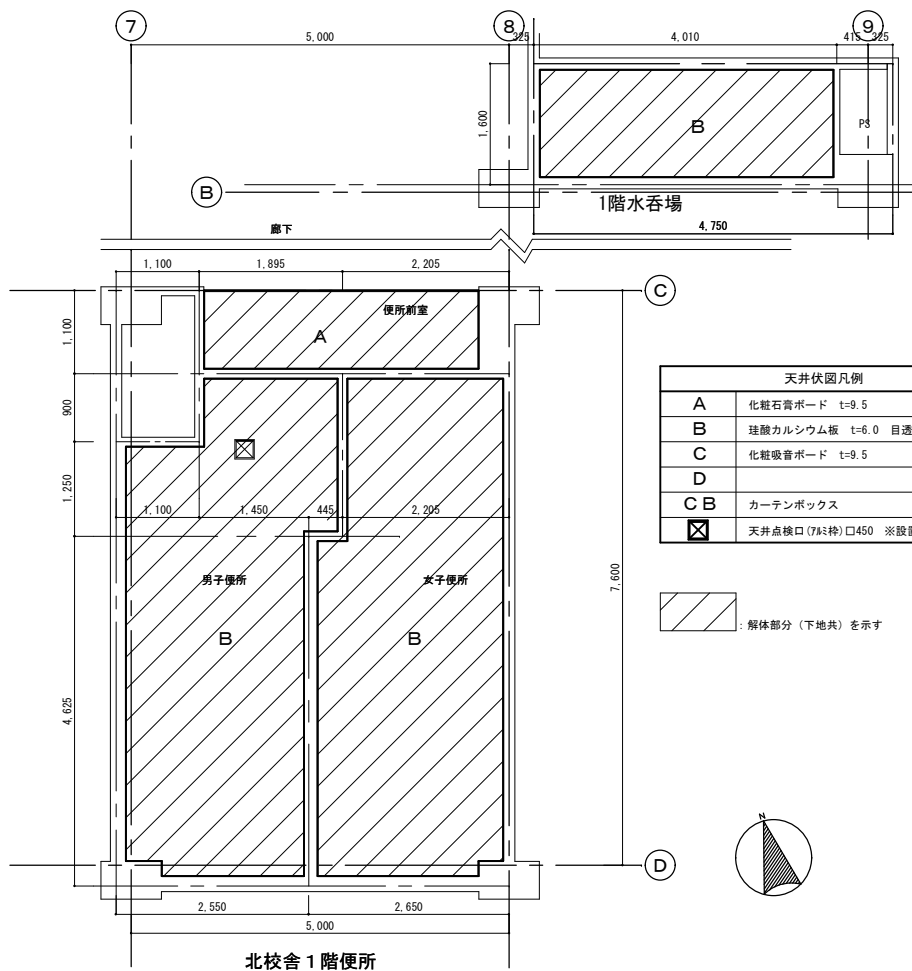


参考図  
東側立面図 S:1/100



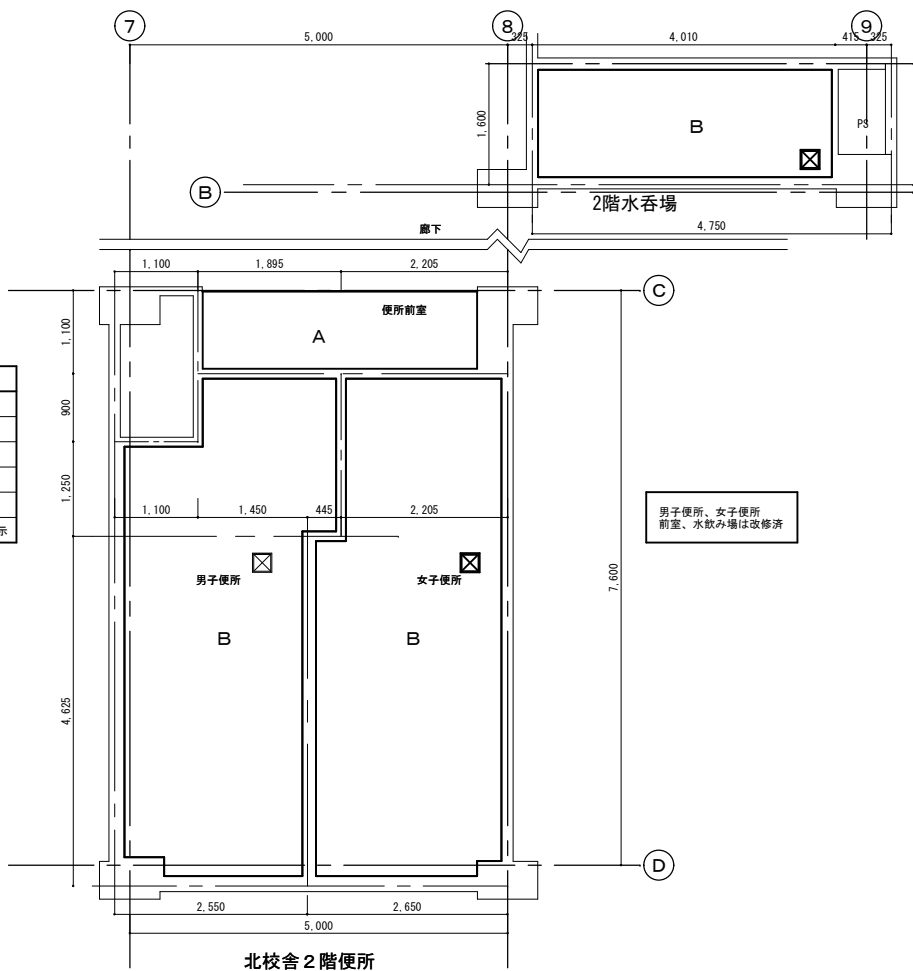
断面詳細図 S:1/30



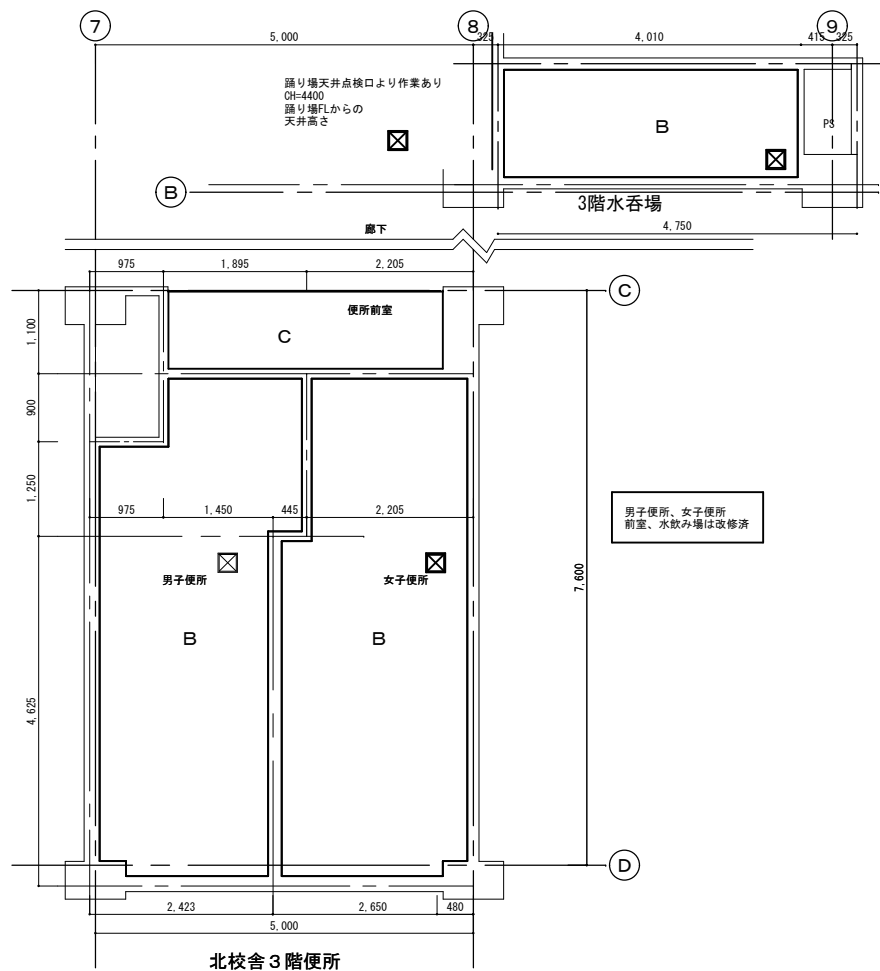


天井伏図凡例	
A	化粧石膏ボード t=9.5
B	珪酸カルシウム板 t=6.0 目透かし EP塗装
C	化粧吸音ボード t=9.5
D	
C B	カーテンボックス
☒	天井点検口 (7&3枠) 口450 ※設置位置:現場指示

斜線部分 (下地共) を示す

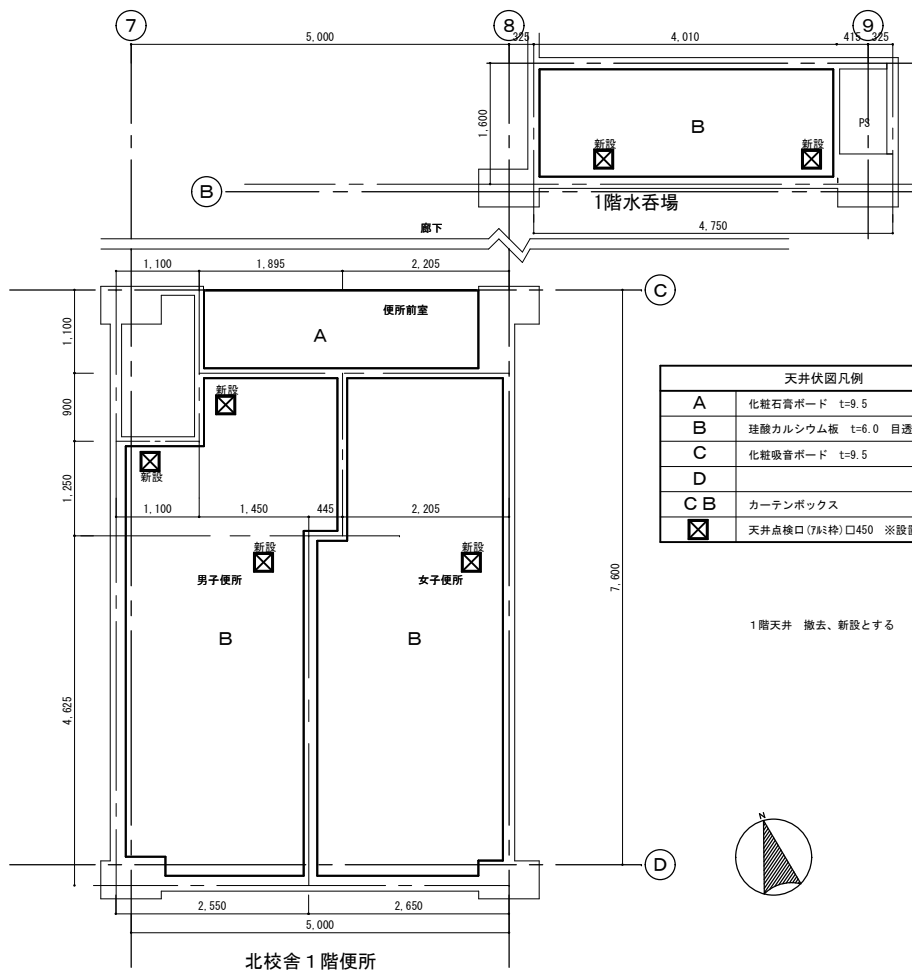


男子便所、女子便所  
前室、水飲み場は改修済



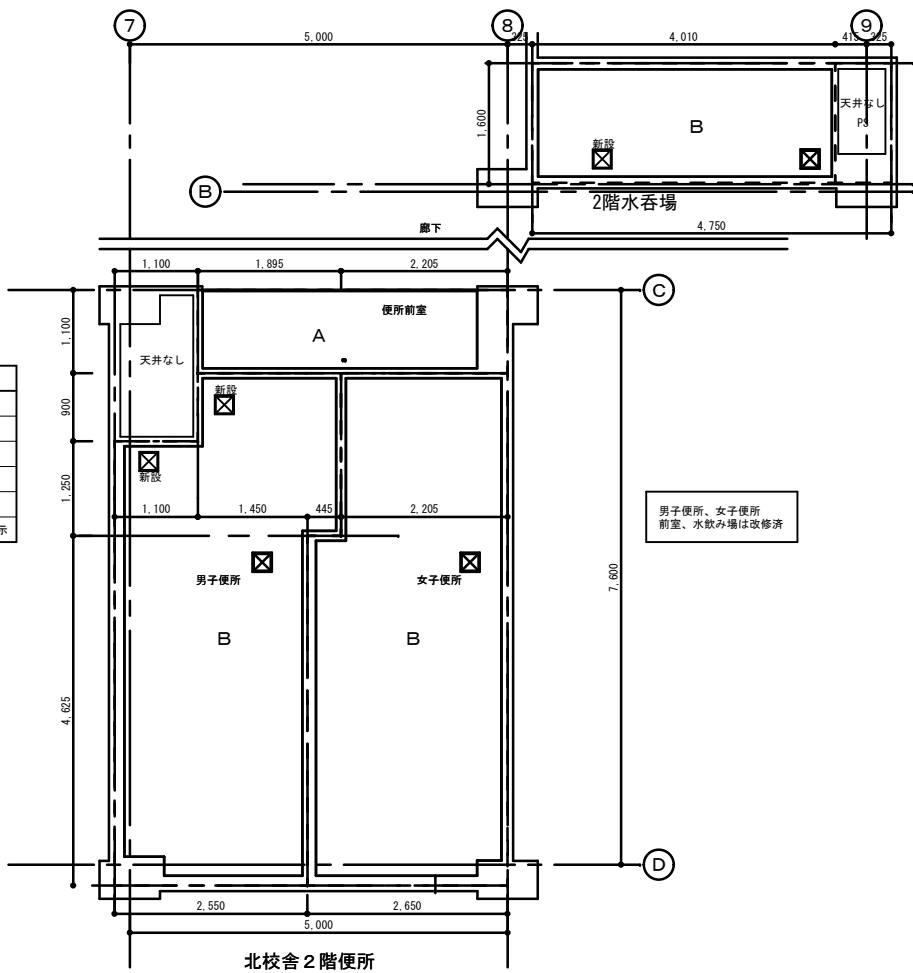
男子便所、女子便所  
前室、水飲み場は改修済

現況  
改修

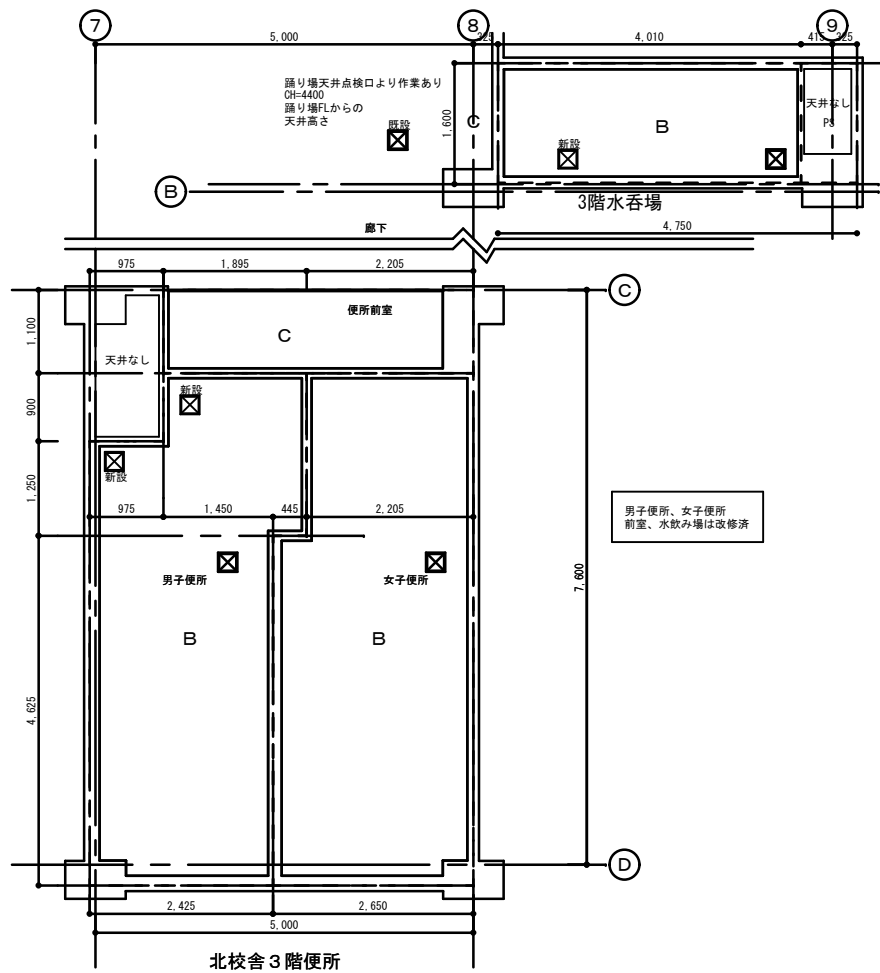


天井伏図凡例	
A	化粧石膏ボード t=9.5
B	珪酸カルシウム板 t=6.0 目透かし EP塗装
C	化粧吸音ボード t=9.5
D	
C B	カーテンボックス
☒	天井点検口 (7&3枠) 口450 ※設置位置:現場指示

1階天井 撤去、新設とする

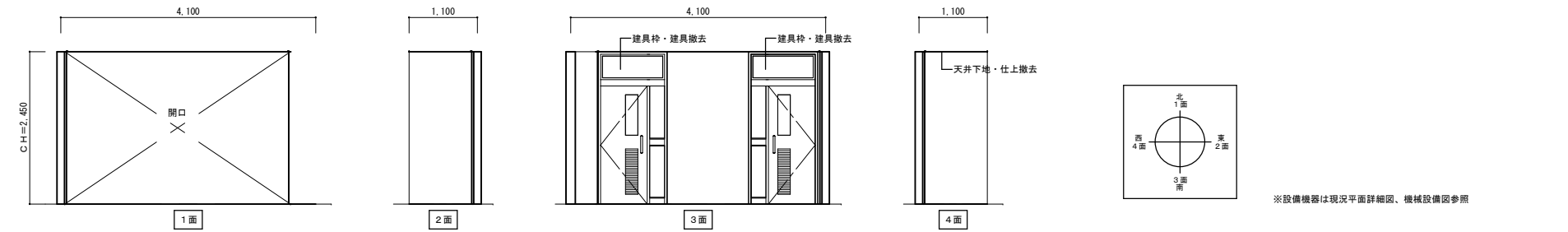


男子便所、女子便所  
前室、水飲み場は改修済

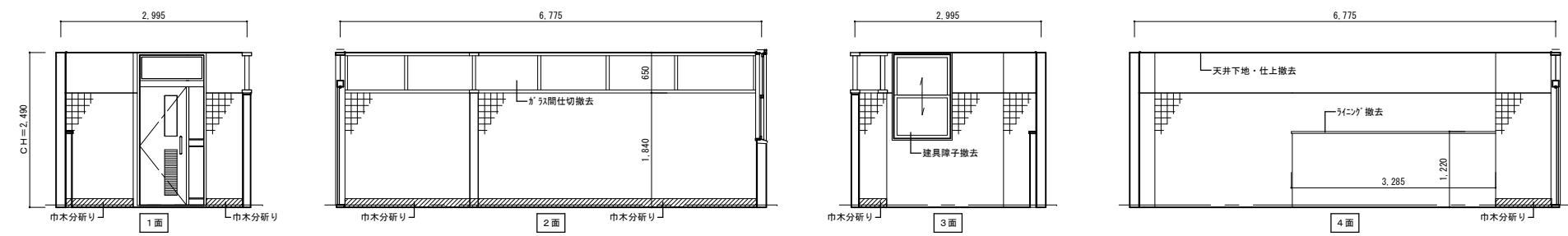


男子便所、女子便所  
前室、水飲み場は改修済

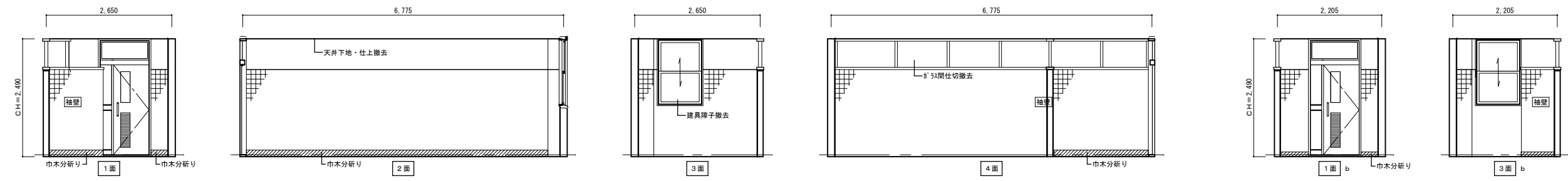
●北校舎 1 階便所前室



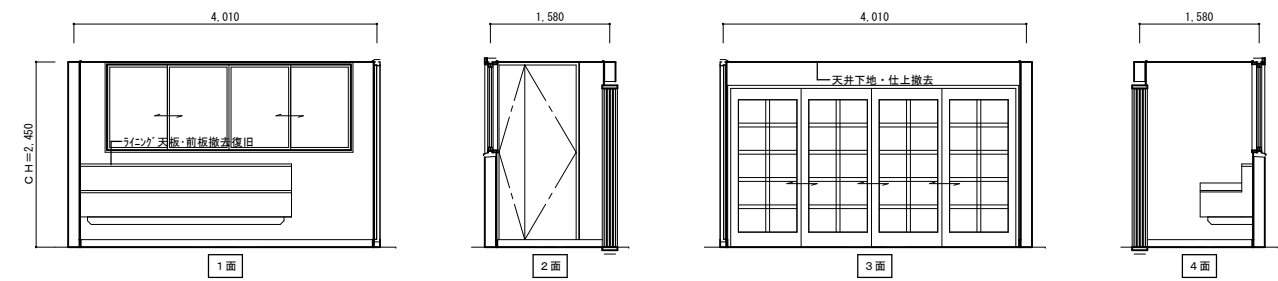
●北校舎 1 階男子便所



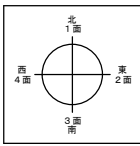
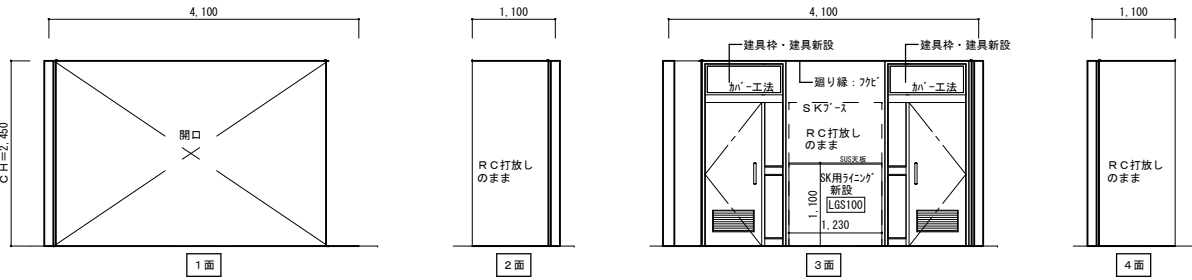
●北校舎 1 階女子便所



●北校舎 1 階水飲場

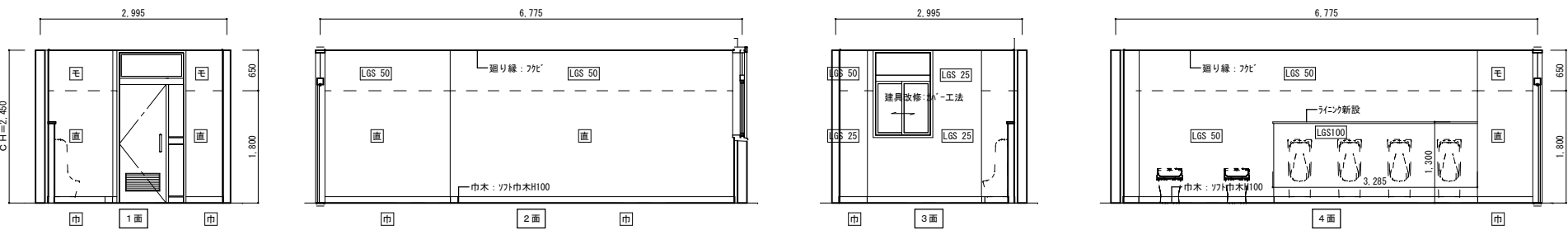


[北校舎]  
● 1 階便所前室

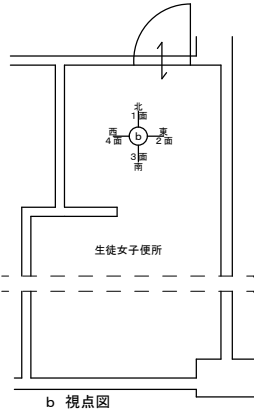
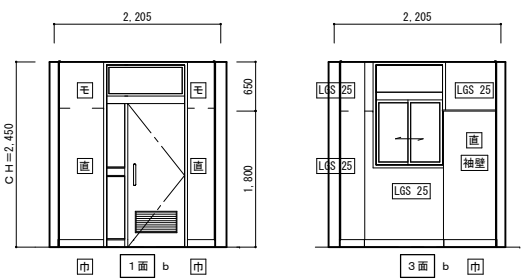
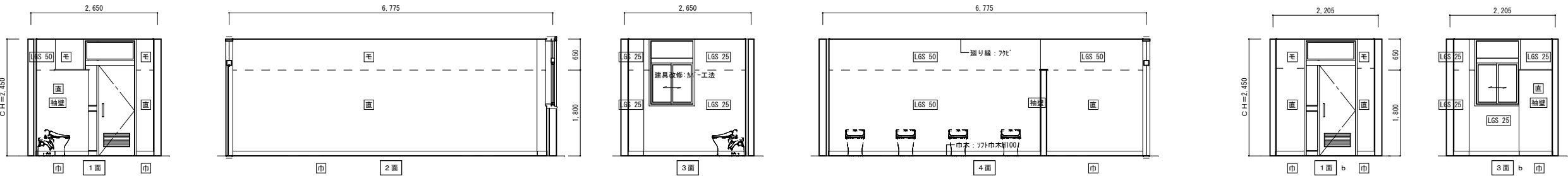


- 壁下地・仕上 凡例
- 木 : 木下地組+耐水ボード+不燃化粧板張
  - 直 : 不燃化粧板直張り
  - LGS 25 : LGS 25+耐水板+下地+不燃化粧板張
  - LGS 50 : LGS 50+耐水板+下地+不燃化粧板張
  - LGS100 : LGS100+耐水板+下地+不燃化粧板張
  - 毛 : モルタル薄塗下地+不燃化粧板張
  - 巾 : 巾木巻上用下地調整

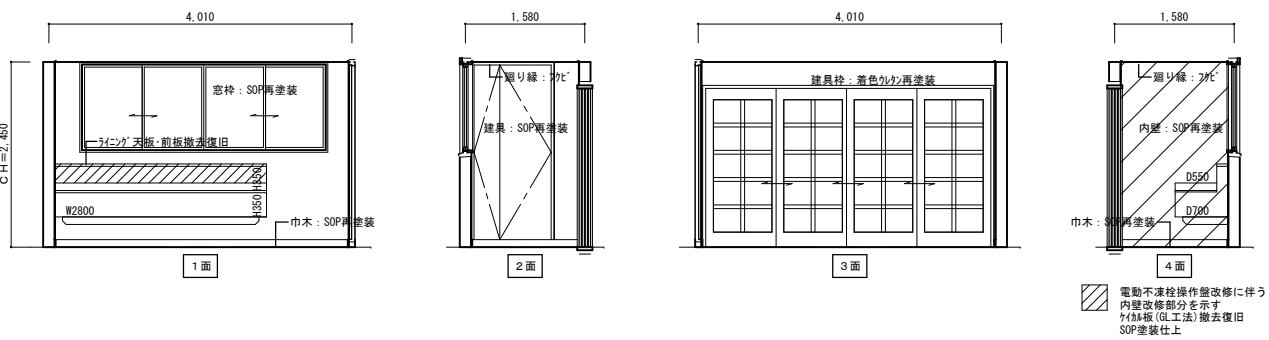
[北校舎]  
● 1 階男子便所



[北校舎]  
● 1 階女子便所

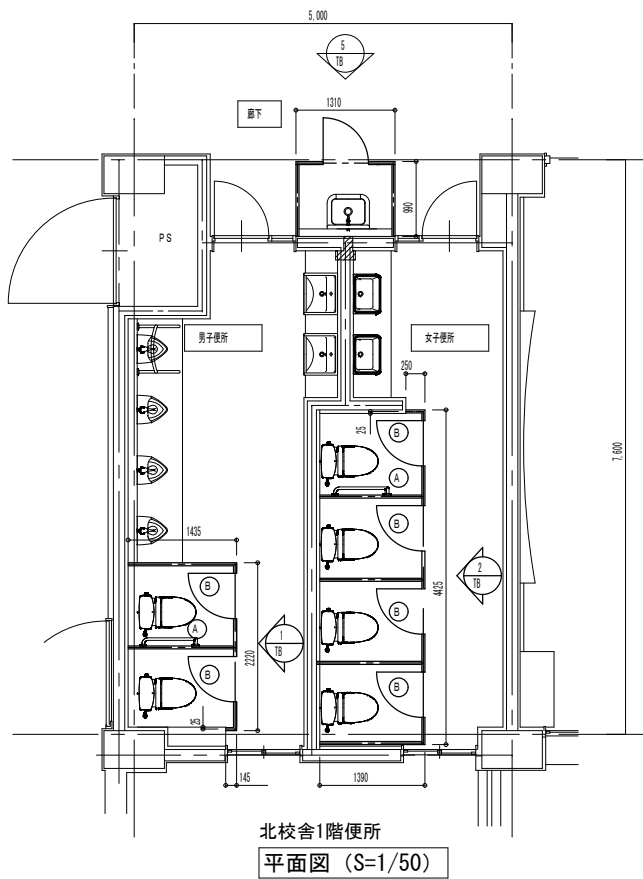


[北校舎]  
● 1 階水飲場

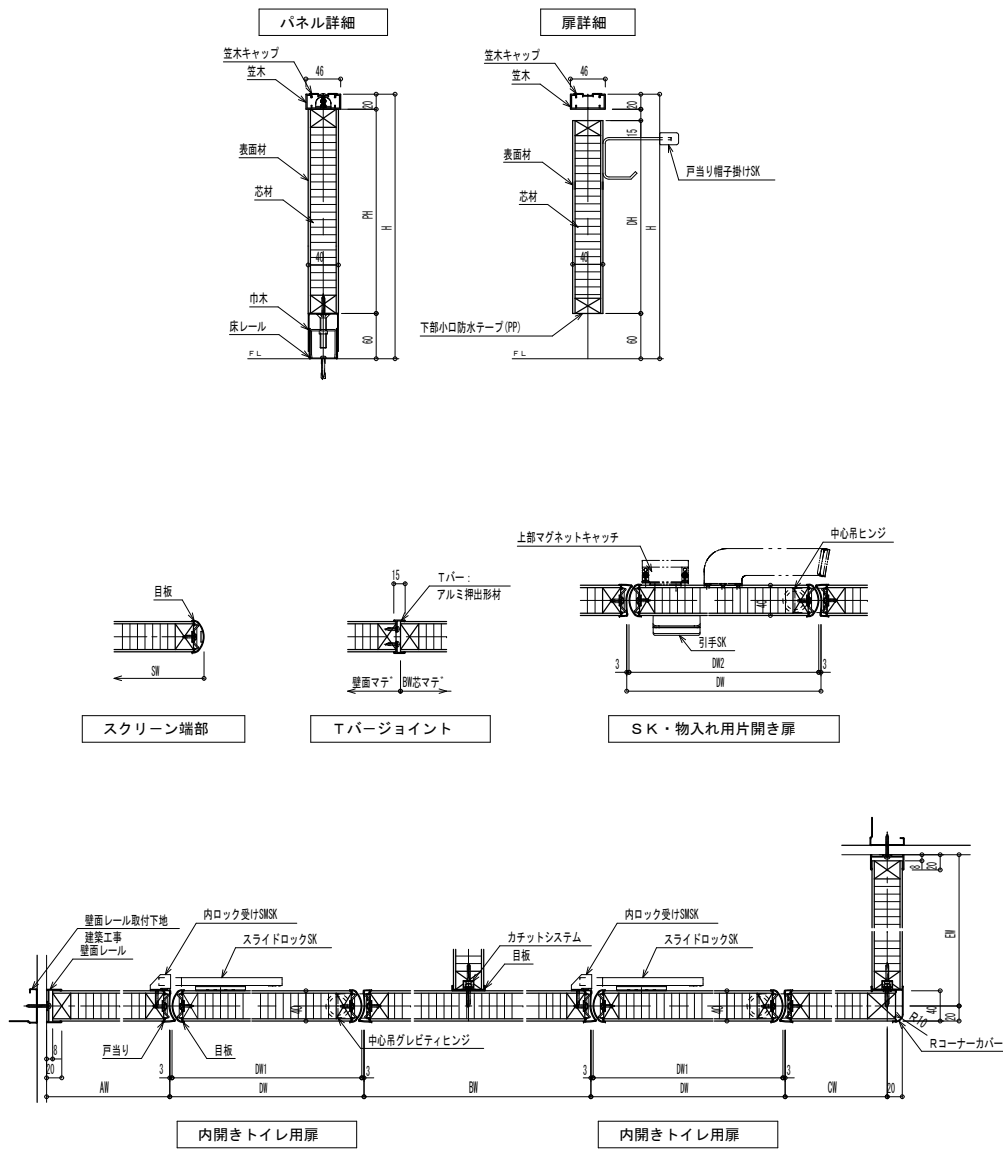




トイレブース 平面図 S=1:50



トイレブース 断面詳細図 S=1:5



◇仕様表

項 目	部 材	材 料 (板厚mm)
パネ ル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(下地:10F)
	芯 材	ペーパーコア
	目板/戸当り	アルミ押出形材 (アルマイトクリア処理仕上)
付 属 品	市木/床レール	ステンレス 0.8mm (ヘアライン仕上)
	笠木	アルミ押出形材 (アルマイトクリア処理仕上)
	壁面レール /コーナーカバー	アルミ押出形材 (アルマイトクリア処理仕上)
	ヒンジ /SKヒンジ	中心吊グレティヒンジ /中心吊ヒンジ
	ロック	スライドロックSK
	その他金物	戸当り帽子掛けSK /引手SK



安 曇 野 市

担当

工事名称

令和5年度(明許繰越)  
堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)

図面名称

トイレブース平面図・断面詳細図

NO.

A-19

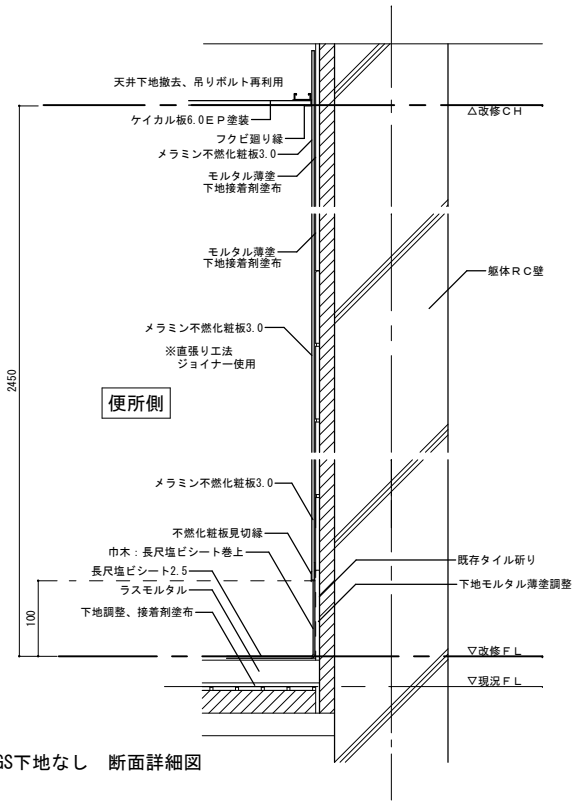
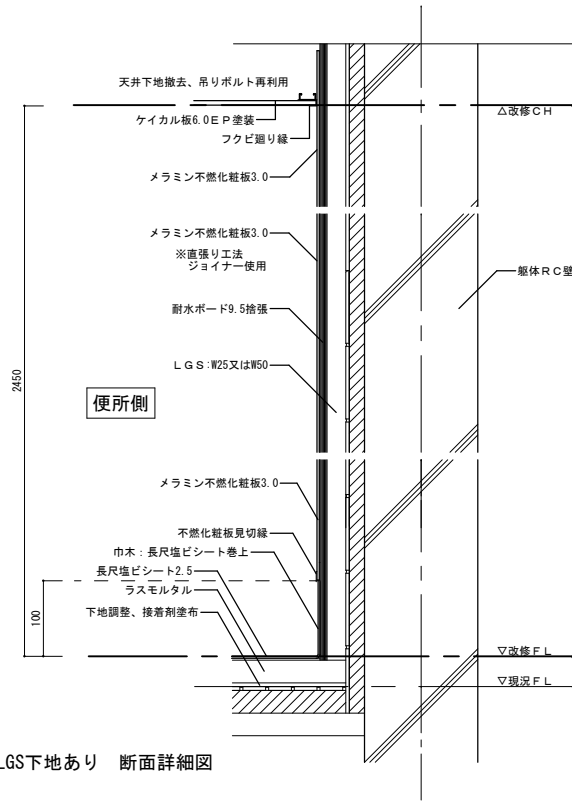
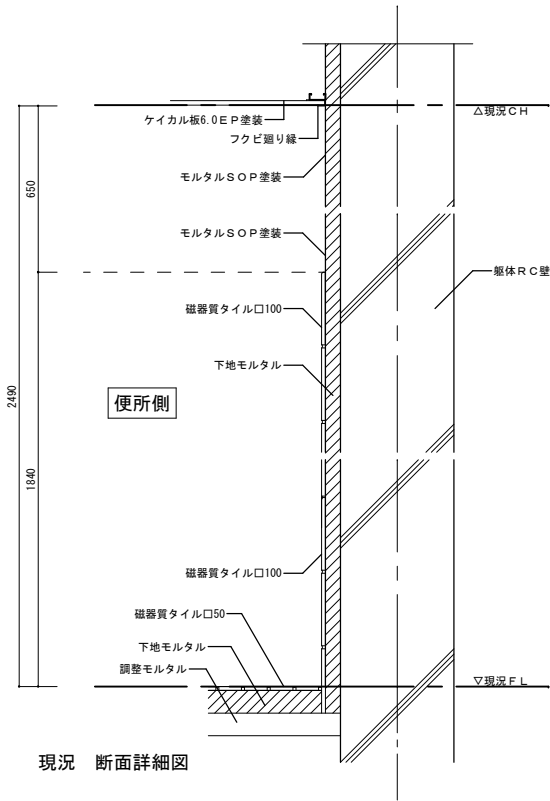
縮尺

A1:1/ 50 A3:1/100

日付

2024/03/29

記 室 号 名		1 TB 北校舎1階 男子便所		S=1/5		2 TB 北校舎1階 女子便所		S=1/5	
形 状 寸 法									
		名 称 トイレブース				トイレブース			
		見 込 40mm				40mm			
		仕 上 アルミR枠 メラミン化粧板（芯材：ペーパーコア）				アルミR枠 メラミン化粧板（芯材：ペーパーコア）			
		ガ ラ ス							
金 物		付属金物一式、SUS巾木、中心吊りグレビティヒンジ、戸当り、笠木金物、笠木塞ぎ				付属金物一式、SUS巾木、中心吊りグレビティヒンジ、戸当り、笠木金物、笠木塞ぎ			
備 考		※裏打ちパーティクルボード厚9mm				※裏打ちパーティクルボード厚9mm			
記 室 号 名		5 TB 北校舎1階 廊下		S=1/5					
形 状 寸 法						<p>Ⓐ : 手摺下地補強 Ⓑ : 荷掛フック用壁下地補強 取付位置監督員協議にて決定</p>			
		名 称 掃除用具入れ							
		見 込 40mm							
		仕 上 アルミR枠 メラミン化粧板（芯材：ペーパーコア）							
		ガ ラ ス							
金 物		付属金物一式、SUS巾木、中心吊りヒンジ、笠木金物、笠木塞ぎ							
備 考		※裏打ちパーティクルボード厚9mm							
記 号 室 名									
形 状 寸 法									
名 称									
見 込									
仕 上									
ガ ラ ス									
金 物									
備 考									



# 電 気 設 備 工 事

## I 工 事 概 要

1 工 事 場 所 安曇野市堀金烏川2126

### 2 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
堀金中学校					別紙記載

3 工 事 種 目 (○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	項 目	建 物 別 及 び 屋 外			
電 灯 設 備		○			
動 力 設 備	幹線、分岐・分電盤改修				
電 熱 設 備	幹線、分岐	○			
雷 保 護 設 備					
受 変 電 設 備					
停 止 形 電 源 設 備	直流電源装置				
発 電 設 備					
構内情報通信設備	LAN用配管				
構内交換設備	電話設備				
情報表示設備	時計設備				
映像・音響設備					
拡 声 設 備					
誘 導 支 援 設 備	インターホン・トイレ誘導設備				
テレビ共同受信設備					
監視カメラ設備					
駐車場管制設備					
防犯・入退室管理設備	予備配管				
自動火災報知設備					
自動閉鎖設備					
非常警報設備	非常放送装置				
ガス漏れ警報設備					
中央監視制御設備					
構内配電線路					
構内通信線路					
昇 降 機 設 備					

### 4 図 面 目 録

番号	図 面 名 称	番号	図 面 名 称
1	特記仕様書	21	
2	電灯・コンセント設備	22	
3		23	
4		24	
5		25	
6		26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

## II 工 事 仕 様

### 1 共 通 仕 様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。),「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準図」という。)による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

### 2 特 記 仕 様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
① 機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はフタル酸ジエーｎーブチル及びフタル酸ジエーエチルへキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
③ 化学物質を放散する建築材料等	ホルムアルデヒドの放散量 該 当 す る 建 築 材 料
	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
	②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
	③下記表示のあるJAS規格品
	a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
	b 接着剤等不使用
	c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
	d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
	e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
	f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
規 制 対 象 外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
	②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品
	③旧JISのE〇規格品
	④旧JASのF〇〇規格品
第 三 種	

④電気保安技術者	電気事業法に定める自家用電気工作に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
⑤電気工事士	
⑥実施工程表及び施工計画書	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承認を受けること。
⑦使用材料発注計画書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した計画書を作成し提出する。
⑧発生材の処理	(1)引渡しを要するもの ○無 ・有 ( ) (2)引渡しを要するもの以外 ・構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物 ○無 ・有 ( ) (4)再利用又は再資源化を図るもの ○無 ・有 (・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類 ) ・設けない ・設ける (規模: ) ・備品 ( )
9 監督員事務所	すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが ・できない ・別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。
10 工事用仮設備	
11 足場・さん機類	・内部仮設足場等 (・A 架台足場 ・移動式足場 ・移動式室内足場 ・ ) ・外部仮設足場等 (・A 種 ・B 種 ・C 種 ・D 種 ) ・防護シート ( )
12 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。
13 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。
14 しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。
15 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。
16 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2005版(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承認を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量〔kgf〕に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。

項	目	特 記 事 項																																																										
	設計用標準水平地震度																																																											
	<table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">上層階、 屋上及び塔屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中 間 階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地下・1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table>	設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0	中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6	地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6	
設置場所	機器種別			特定の施設		一般の施設																																																						
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																							
上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																							
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																							
	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0																																																							
中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																							
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																							
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																							
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																							
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																							
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																							
	(※1) 水槽類にはオイルタンク等を含む。 ◎重要機器の定義は次による。 ・受変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ・ ◎上層階の定義は次による。 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、 10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 (2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。																																																											
17	あと施工アンカー	(1)重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)8章の第8.2.4及び10節による。 (2)上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。 (引抜き試験を ・実施する ・実施しない )																																																										
18	防火区画等の 貫 通 処 理	電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。																																																										
⑨	電線・ケーブル	(1)EM-EFFは紫外線による劣化を抑制する性能を持たせ、「タシガイト」EM-EFF」と表記されたものを使用する。 (2)EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。																																																										
20	予 備 配 管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。																																																										
21	呼 び 線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線管を挿入する。																																																										
22	金属製電線管の塗装	下記の出露配管は塗装を行う。 ・屋 外 ・屋 内 ( )																																																										
23	埋 め 戻 し 土	・種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種																																																										
24	建設発生土の処理	・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める ・構外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し																																																										
25	ケーブル埋設渠	(1) 地中線路には、ケーブル埋設渠をもうける。 ・鉄製 ・コンクリート製 (2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標準シートを敷設する。 (3) 配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標準シートは2条以上敷設する。																																																										
26	ブルボックス	(1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上は、メラミン焼付塗装とする。 (2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。																																																										
⑦	フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製																																																										
⑧	プレートの用途表示	ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を安裝しないプレートには、用途を明示した略標をつける。																																																										
⑨	配 線 器 具	タンブラスイッチは適用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は横式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 ・直付(ビス止め)型下式 ( ・ 銅合金製 ・ アルミ製)とする ・直付(ビス止め)型垂直下式(銅合金製)とする																																																										
30	フロアコンセント	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。																																																										
③	機器への接続	(1) 非常用照明の照度測定は設置後速やかに行い、監督職員に報告する。 (2) 学校施設における室内照度測定(測定教室: 箇所、測定黒板面: 箇所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する																																																										
32	照 度 測 定	(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。																																																										
③	盤 類	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ・変圧器 ・( ) <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器																																																										
34	グリーン購入の推進	工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。																																																										
35	他工事又は他工種 との取り扱い	保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。 (長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)																																																										
36	その他及び電子納品																																																											

(別表) しゅん工時提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

個 別 提 出 物	一 括 提 出 物
1 完成図 ・ 原因 (A1版 ケース入り) ・ 隣面 (A1 2つ折り製本 1部) ・ マイクロフィルム (アバーチャカード貼付 台紙は黄色) ・ CADデータ	5 機器完成図 6 工事写真 7 完成写真 8 工事記録 (打合せ簿、工事日誌、協議書) 9 機材の試験成績書 10 施工の試験成績書 11 社内試験成績書 12 発生材処理報告書 (廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約書の写し・マニフェストの写し、フロー図)
2 設計図 ・ マイクロフィルム (アバーチャカード貼付 台紙は青色)	13 納入品一覧表
3 引渡書	14 官公署手続、検査書(管理者用正本、写し)
4 納入品 ・ 予備品 ・ハンドホールフック、ジャッキ ・ 盤類の鍵 ・	15 保全に関する資料(取扱説明書も含む)

### 3 ハンドホール

下表による。(様子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)  
・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。  
・ブロックの仕様は国土交通省仕様に至るものとする。

ハンドホール No.ー	1,500×1,500×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,740以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	1,200×1,200×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,700以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	1,000×1,000×1,400D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,600以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	1,000×1,000×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,300以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	1,000×1,000×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既製足場付)
ハンドホール No.ー	900×900×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,260以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.ー	900×900×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既製足場付)
ハンドホール No.ー	600×600×680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既製足場付)
ハンドホール No.ー	450×450×680D 蓋 WPM-45B (Eマーク入)	※植栽帯等車両の通行の恐れがない場所、収容ケーブルが少ない場所に限る

### 4 接 地 極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

A 種 接 地	銅板1.5t×900×900 リード端子付 堀剛埋戻中心深さ2m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設棒(貴銅製又はステンレス製)
B 種 接 地	銅板1.5t×600×600 リード端子付 堀剛埋戻中心深さ2m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設棒(貴銅製又はステンレス製)
C 種 接 地	銅板1.5t×300×300 リード端子付 堀剛埋戻中心深さ1.5m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設棒(貴銅製又はステンレス製)
D 種 接 地	接地棒(10φ×1,500)	リード端子付 打ち込み式埋設棒(貴銅製又はステンレス製)

### 5 機 器 取 付 高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名 称	測 点	取付高(mm)		名 称	測 点	取付高(mm)
共 通	取 引 用 計 器	地上～上端	2,000	時 計	壁 掛 形 観 時 計	床 上 ～ 中 心	1,500 (上端1,900以下)
	引 込 閉 閉 器	床 上 ～ 上 端	1,800		子 時 計	"	"
	警 報 盤	床 上 ～ 中 心	1,500		壁掛形スピーカ	"	"
					アツチネーター	"	"
	分 電 盤	床 上 ～ 中 心	1,500 (上端1,900以下)		表 示 盤	床 上 ～ 中 心	(天井高)×0.9
	タンブラスイッチ (身障者用)	"	1,300		壁 付 発 信 器	"	1,300
	コンセント(一般)	"	1,100		ベ ル	"	(天井高)×0.9
	"(和室)	"	300		プ ザ ー	"	(天井高)×0.9
	"(便所等)	"	150		押 ボ タ ン	"	1,300
	"(台上)	台 上 ～ 中 心	500		"(身障者用押印)	"	900
電 灯	ブラケット(一般)	床 上 ～ 中 心	150	示	身 障 者 用 表 示 灯	"	2,000
	"(踊場)	床 上 ～ 中 心	2,100		復 帰 ボ タ ン	"	1,800
	"(鏡上)	鏡 鏡 ～ 中 心	2,500		イ ン タ ー ホ ン	床 上 ～ 中 心	1,500
	遊 覽 口 誘 導 灯	床 上 ～ 下 端	150		タ	床 上 ～ 中 心	1,100
	廊 下 通 路 誘 導 灯	床 上 ～ 上 端	1,500以上 1,000以下		壁 付 イ ン タ ー ホ ン	"	"
					壁 付 位 置 ボ ッ ク ス	"	"
	動 力	壁 掛 形 制 御 盤	床 上 ～ 中 心		ー (壁付インターホンを除く)	"	"
		手 元 開 閉 器	"		"(一般)	"	300
		操 作 ス イ ッ チ	"		"(和室)	"	150
		押 ボ タ ン	"		テ レ ビ 共 同 受 信	"	"
話	室内端子壁 (廊下・室内)	床 上 ～ 下 端	300	電 気	機 器 収 容 箱	床 上 ～ 中 心	(天井高)×0.9
	中間端子壁 (EPS・電気室)	床 上 ～ 中 心	1,500		ア ウ ト レ ッ ト	"	"
	集合保安器箱 壁付アウトレット	"	"		"(一般)	"	300
	ボックス(一般)	"	(天井高)×0.9		"(和室)	"	150
	"(和室)	"	300		受 信 機	床 上 ～ 操 作 部	800～1,500
		"	150		副 受 信 機	床 上 ～ 中 心	800～1,500
					機 器 収 容 箱	"	800～1,500
					電 信 器	"	800～1,500
					ベ ル	"	(天井高)×0.9
					消 火 栓 表 示 灯	"	(天井高)×0.8



安曇野市

担当

工事名称

令和5年度(明許繰越)  
堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事(Ⅲ期)

図面名称

特記仕様書 電気設備工事

NO.

縮尺

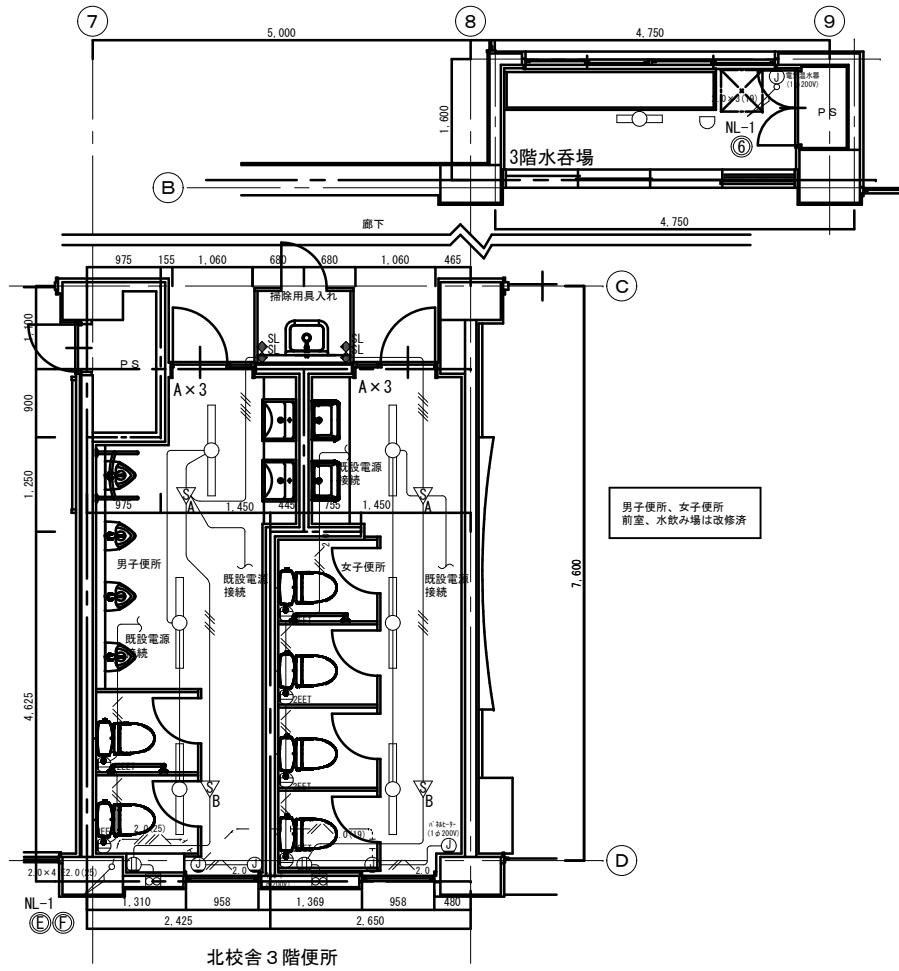
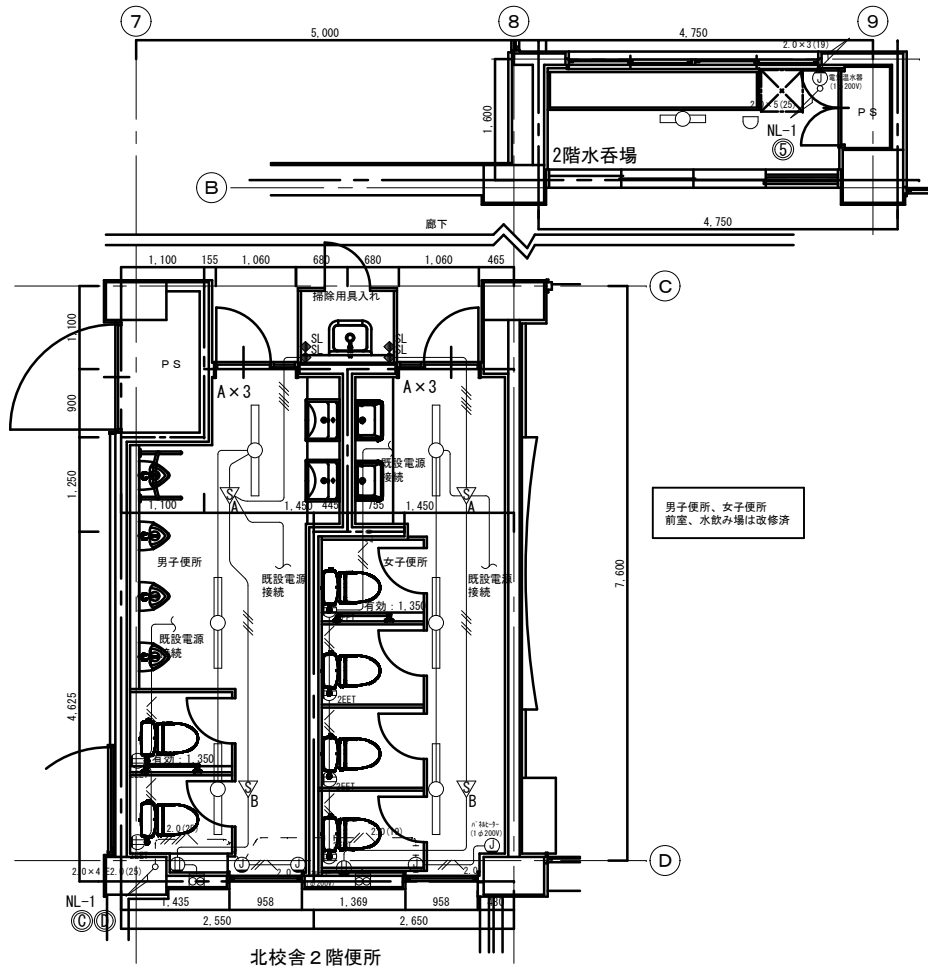
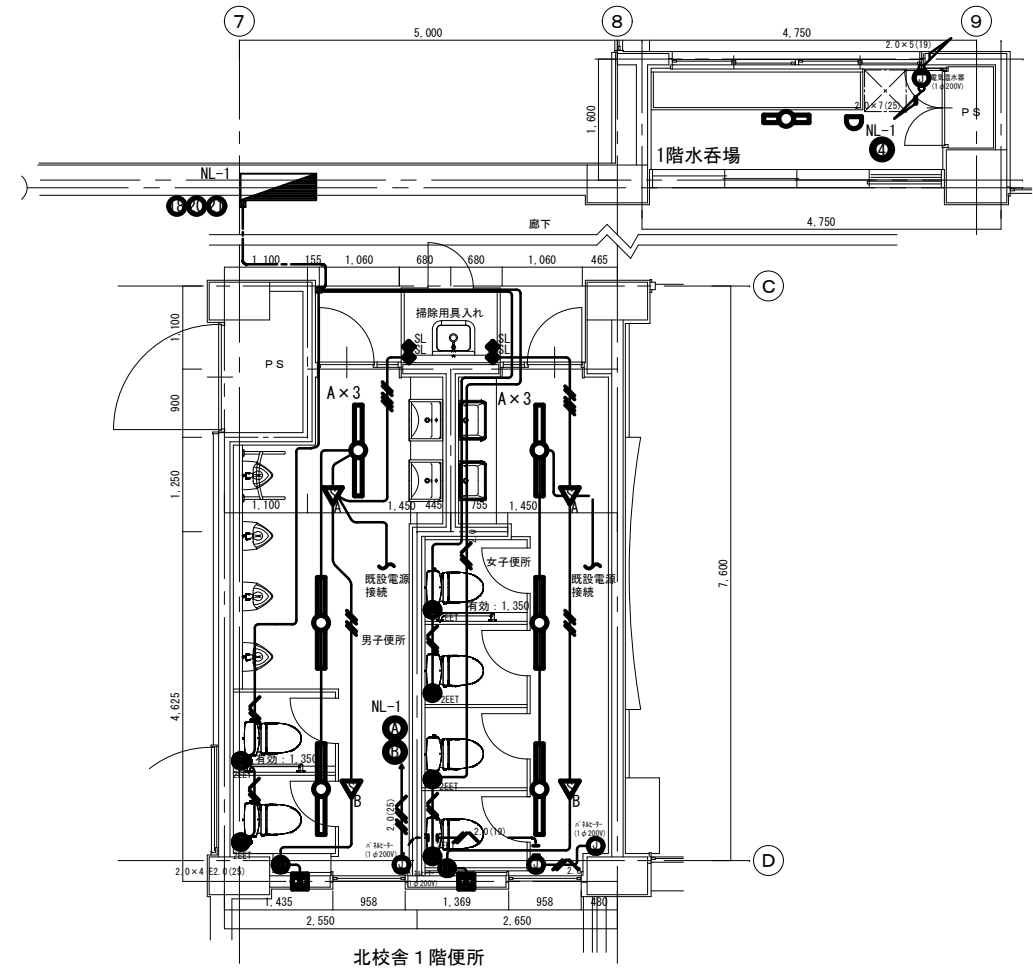
A1:1/non A3:1/non

日付

2024/03/29

E-01





照明器具姿図

A	LSS9-4-23 直付型 40形
	iDシリーズ直付型 40形Dスタイル W150
	一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 昼白色（5000K）、Ra83 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 電源装置はライトバー側に内蔵
	iDシリーズ直付型 40形Dスタイル W150 パナソニック 直付XLX420AENPLE9 参考型番

凡 例	※ 特記なき配管・配線は下記による。		
電灯・コンセント設備	埋込スイッチ IP15A 3:3路 4:4路 L・N・Gの3タイプ	EM-EFF 1.6-2C	天井内隠ぺい配線
	3WP:3路防水 AS:自動点滅器100V 3A 4線式	EM-EFF 1.6-3C	天井内隠ぺい配線
	埋込スイッチ IP15A + コンセント 2P15A×2 接地極付（同一ボックス内に収める）	EM-EFF 1.6-3C (7-ス)	天井内隠ぺい配線
		EM-EFF 1.6-2C×2	天井内隠ぺい配線
	熱線センサー付自動スイッチ操作ユニット 照明・換気扇 2回路用	EM-EFF 1.6-2C+3C	天井内隠ぺい配線
	熱線センサー付自動スイッチ 鏡機8A	EM-EFF 2.0-2C	天井内隠ぺい配線
	熱線センサー付自動スイッチ子機 換気扇接続端子付	EM-EFF 2.0-3C (7-ス)	天井内隠ぺい配線
	熱線センサー付自動スイッチ 照明・換気扇自動制御型	IV 2.0	既設 床配線
	換気扇 機械設備工事		
	埋込コンセント 2P15A×1		
	埋込コンセント 2P15A×2 接地極付		
	埋込コンセント 2P15A×2 接地極接地端子付		
	カバープレート ボックス内にて電源接続（既設ハネに9回路）		
① 電気温水器 (1φ200V)	/A' A2' レード 電源直接接続（電気温水器）		
② A 18C-3 (1φ200V)	/A' A2' レード 電源直接接続（ハネに9回路）		

※分電盤改修指示事項 既設電灯盤（NL-1）		
番号	負荷名称	
Ⓐ	パネルヒーター	100V から 200V へ電圧切替
Ⓑ	パネルヒーター	100V から 200V へ電圧切替
Ⓒ	パネルヒーター	100V から 200V へ電圧切替
Ⓓ	パネルヒーター	100V から 200V へ電圧切替
Ⓔ	パネルヒーター	100V から 200V へ電圧切替
Ⓕ	パネルヒーター	100V から 200V へ電圧切替
④	電気温水器	100V から 200V へ電圧切替
⑤	電気温水器	100V から 200V へ電圧切替
⑥	電気温水器	100V から 200V へ電圧切替
⑱	ウォシュレット	100V 回路増設
⑳	ウォシュレット	100V 回路増設
㉑	ウォシュレット	100V 回路増設

# 機械設備工事

## I. 工事概要

1. 工事場所 安曇野市堀金烏川2126  
2. 建物概要

建物名称	工事種別	構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	消防法施行令別表第一	耐震分類	備考
堀金中学校	改修	R C	3 F	7,655.14(m <sup>2</sup> )	(7)項	-	

3. 工事種目(●印を付けたものを適用する)

工事種目	建物別					屋外
	工	事	内	容		
○空調設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○冷暖房設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○暖房設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○換気設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○排煙設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○自動制御設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○衛生器具設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○給水設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○排水設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○給湯設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○消火設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ガス設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○給油設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○厨房機器設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○実験実習器具設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○浄化槽設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式

4. 設備概要(○印を付けたものを適用する)

方法及び種別	設備概要
空調方式	
冷暖房方式	
暖房方式	・温風暖房 ・温水暖房 ・F F暖房
換気方式	・局所換気
給水方式	・水道直結式 ・加圧式 ●高置タンク式 ●上水 ・井水
排水方式	・建物内汚水、雑排水(●分流 ・合流) ・建物外汚水、雑排水(・分流 ●合流) 浄化槽( ・合併 ・単独 ) 放流先 ●公共下水 ・
消火設備の種類	・屋内消火栓設備 ・消火器
ガスの種別	・都市ガス(発熱量 KJ/Nm <sup>3</sup> 供給事業者名: ) ・液化石油ガス(発熱量 100,000 KJ/Nm <sup>3</sup> )

5. 指定部分・無 ・有 (指定部分しゅん工期限 平成 年 月 日)  
対象部分:

## II. 図面目録

No.	図面名称	No.	図面名称
Ⅱ-01	特記仕様書		
Ⅱ-02	機器器具表		
Ⅱ-03	系統図		
Ⅱ-04	1階改修平面図		
Ⅱ-05	2階改修平面図		
Ⅱ-06	3階改修平面図		
Ⅱ-07	便所、水呑み場給排水配管図		
Ⅱ-08	暖房、換気設備図		
Ⅱ-09	外部・1階全体図(既設)		
Ⅱ-10	2階全体図(既設)		
Ⅱ-11	3階全体図(既設)		
Ⅱ-12	北校舎給排水設備平面図(既設)		
Ⅱ-13	北校舎暖房、換気設備図(既設)		

## III. 工事仕様

- (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) (令和4年版) 」(以下、「標準仕様書」という。), 「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) (令和4年版) 」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) (令和4年版) 」(以下、「標準図」という。)による。  
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。  
参考図書  
●安曇野市建築工事の手引き(以下、「手引き」という。 ) 安曇野市企画財政部監修  
2. 特記仕様  
(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用し、・印の付いたものは適用しない。

章	項目	特記事項
1	機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとす。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。
2	機材の品質・性能証明	使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料(以下、「品質性能証明資料」という。)を提出して監督職員の承認を受ける。(標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2)ただし、(社)公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」によって所定の評価を受けているものは省略できる。製作図、試験成績書等は除く。
3	使用材料発注先調査	使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調査を作成し、監督職員の承認を受ける。
4	施工条件明示項目	・公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」

5 化学物質を発生する建築材料等

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。  
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。  
2) 保温材、断熱材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。  
3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。  
4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。  
5) 上記1)、3)、4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。  
なお、ホルムアルデヒドを発生しないものとは、発散量が規制対象外のものや、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第3種のものや、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第3種のものを使用するものとする。

ホルムアルデヒドの発散量	該当する建築材料
規制対象外	①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
第3種	①JIS及びJASの F☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③JISの Eo規格品 ④JASの Fco規格品

飲料水管系に使用されているペストシール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用されていないこと。  
ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼン、テトラデカン、クロロピリソル、フェノプロカルブ、ダイアジノン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル  
電気保安技術者を設置する。  
●配管(1. 2) ・冷凍空調用機器(1. 2) ●熱絶縁(1. 2) ・建築金具(1. 2)  
●設けない ・設ける  
この工事に必要な工事用電力、用水、護手続きなどの費用は発注者の負担とする。  
●契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担する。  
・改修機械設備標準仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。  
・内部仮設足場等( ・種 ・種) ・外部仮設足場等( ・種 ・種)  
資材の保管は必ず屋根をかけた地上30cm以上の台の上に集める。  
・監督員が指示する構内の場所に数ならし ・構内指定場所にたい積 ・構外搬出適切処理  
・根切中の良質土(ただし管の周囲は山砂、川砂又は雑生砂) ・山砂の類  
根切中の山留め ・有( ・ ) ・無  
工事に先立ち手引き第2編による廃棄物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工時には廃棄物等処理報告書を作成し提出する。  
(1) 引渡しを要するもの ●無 ・有( ・ )  
(2) 引渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令により適切に処理すること。  
(3) 特別管理産業廃棄物 ●無 ・有( ・ )  
(4) 再利用又は再生資源化を図るもの (297号焼塊、777号焼塊、木くず、金属くず、塩ビ管、 )  
標準仕様書第1編1. 7. 4によるほか、バルブ類等には必要に応じて合成樹脂製名札をステンレス線で取付ける。

機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等を書いた取扱説明板(アクリル樹脂製、文字形込み程度)を設ける。大きさは、約 ㎝とす。  
・風量調整 ・水量調整 ・室内外空気の温度測定 ・騒音測定  
・飲料水の水质の測定( ・水质基準検査10項目(一般細菌、大腸菌、硫酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物价、有機物等(TOC)、pH、臭、味、色度、濁度) ・トルエン)  
飲料水の水质の測定は厚生労働大臣登録水质検査機関とする。  
(1) 機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。  
(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。  
機器、配管、風道等は耐震を考慮し堅固にすえ付け、取付又は支持を行う。  
耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。  
(1) 設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量)に、次に示す地域係数及び設計用標準水平地震度を乗せたものとする。

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設(・甲種・乙種)	一般の施設(乙種)		
上層階、屋上及び塔屋	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	(2. 0)	(2. 0)	(2. 0)	(1. 5)
中間階	2. 0	(1. 5)	(1. 5)	(1. 0)
	(1. 5)	(1. 0)	(1. 0)	(0. 6)
	(1. 5)	(1. 0)	(1. 0)	(0. 6)
地下階、一階	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	(1. 0)	(1. 0)	(1. 0)	(0. 6)
	(1. 5)	(1. 0)	(1. 0)	(0. 6)

(注) 1. ( ) 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。  
2. ( ) 内の数値は水槽類に適用する。  
3. 上層階の定義は次による。  
2～6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階  
重要機器とは下記に示すものをいう。  
・給水装置・排水装置・換気機器・空調機器・防災設備・監視制御設備・危険物貯蔵装置  
・火を使用する設備・避難経路上に設置する機器  
(2) 設計用相対地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。  
機械改修工事標準仕様書第2編5章による。  
・性能確認試験( ・ ) ・施工後確認試験( ・ ) 確認強度 **KN**  
吊金物は亜鉛メッキ又はステンレス鋼製とする。  
給水、給湯、消火、冷温水、冷却水管は、図面による水抜きが確実にできるような水抜き位置に向かって下り勾配とする。  
コンクリート内の鋼管、鉛管及び塩ビ管については、プラスチックテープを1/2重ね1回巻くとする。また、コンクリート土間下配管は、鋼管等により下下防止措置をする。  
土中埋設管(排水含む)は、管の上下をサンドクッション厚100mmで保護する。  
給水管、消火管の埋設深さは ㎝とする。又、ガス管の埋設深さは ㎝とする。

22 あと施工アンカー確認試験

23 吊金物

24 配管勾配

25 管の保護

26 管の埋設

27 管の埋設表示

28 溶接部の非破壊検査

29 塗装

30 機器の基礎及び振動絶縁効率

31 電線類

32 保つり

33 保温及び消音内貼り

34 防凍保温

35 試験

36 他工事との取合い

37 その他

○空調設備

○冷暖房設備

○換気設備

○厨房設備

○排水設備

○給湯設備

○消火設備

○ガス設備

○給油設備

○厨房機器設備

○実験実習器具設備

○浄化槽設備

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

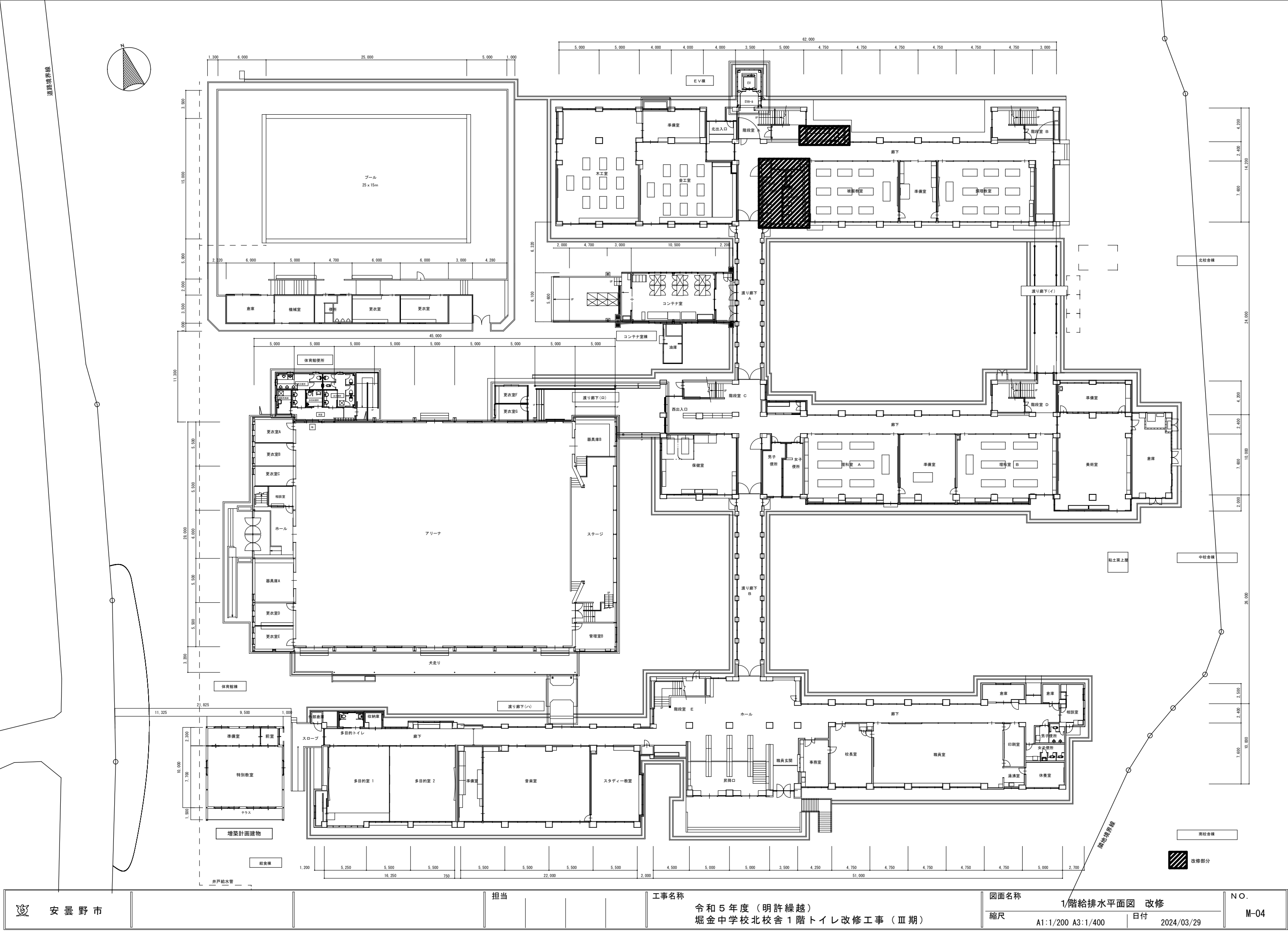
○


○

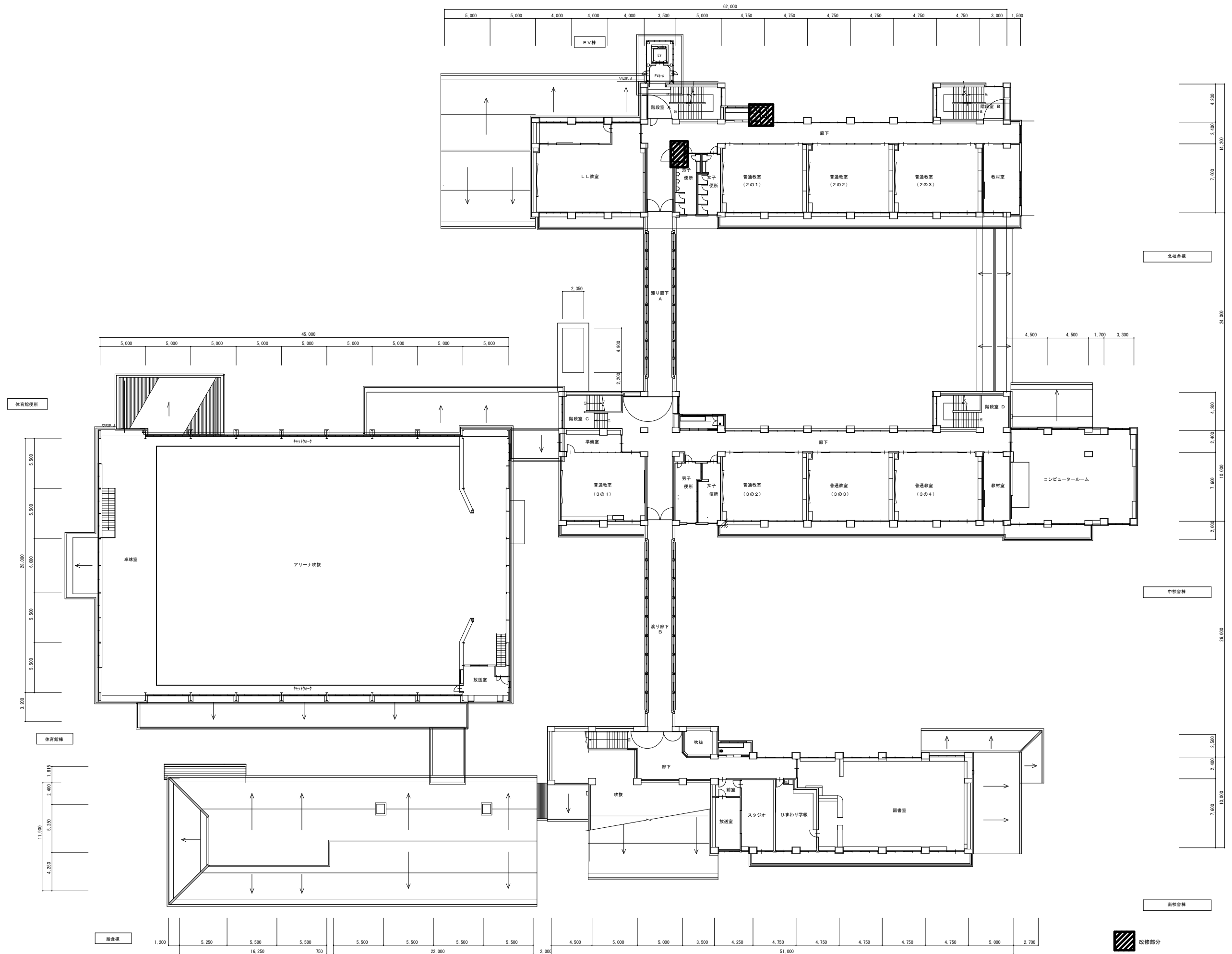
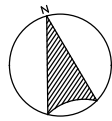
機 器 器 具 表

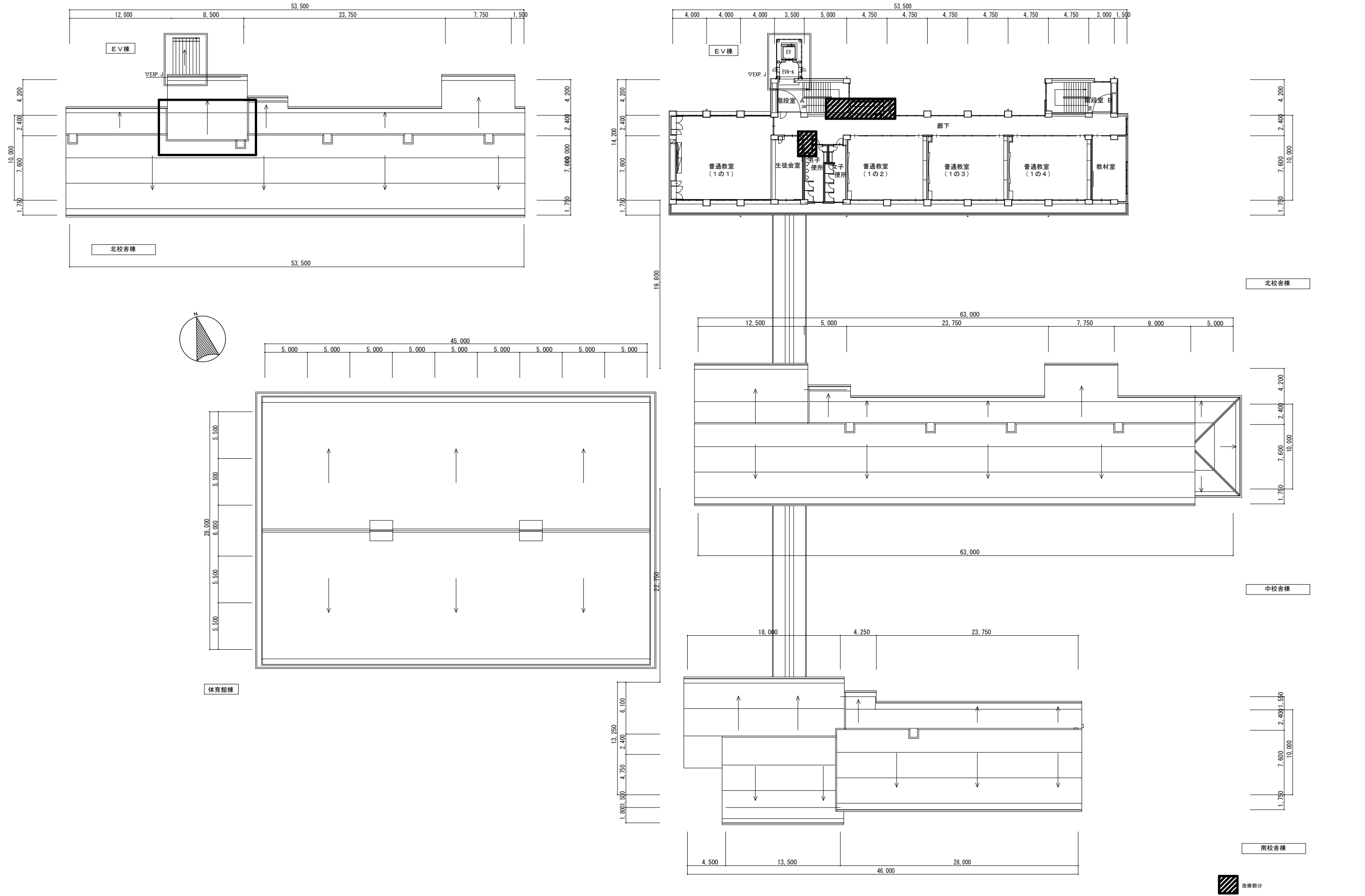
[illegible]





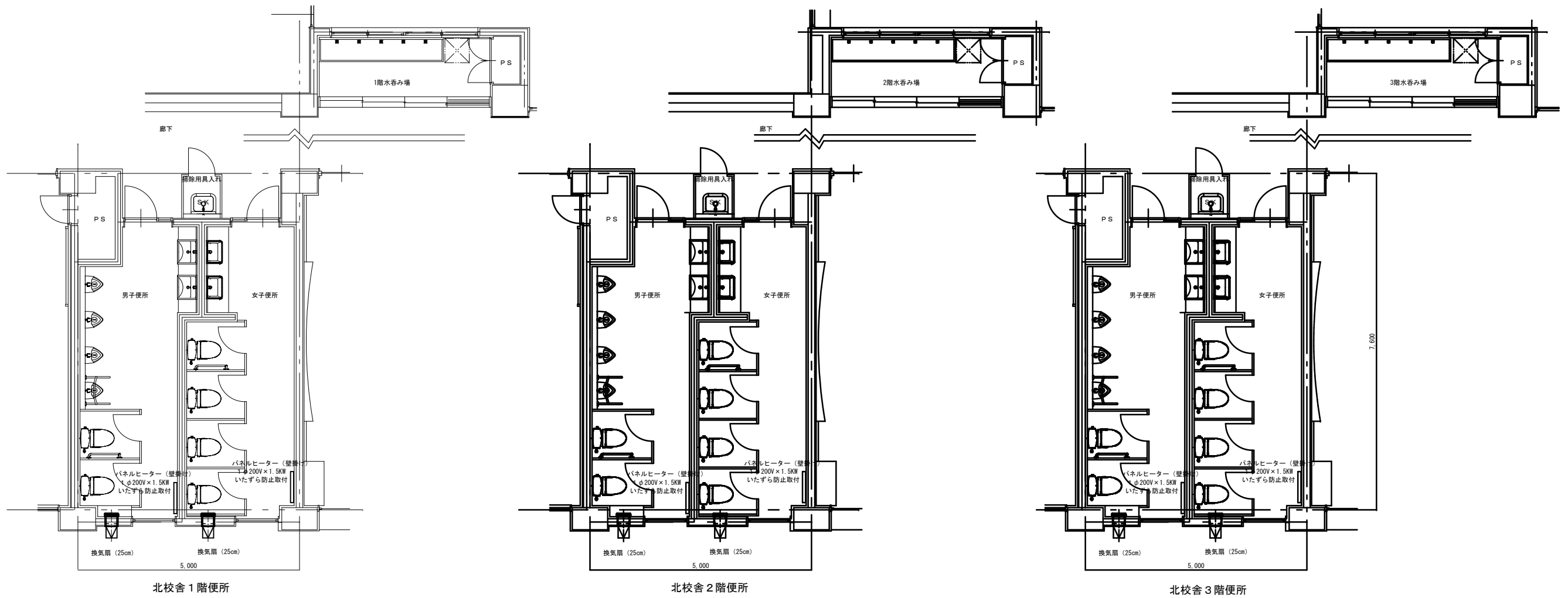
<div>安曇野市</div>	<div>担当</div>	<div>工事名称</div>	<div>令和5年度（明許繰越） 堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事（Ⅲ期）</div>	<div><div>図面名称</div><div>1階給排水平面図 改修</div><div>縮尺</div><div>A1:1/200 A3:1/400</div><div>日付</div><div>2024/03/29</div><div>NO.</div><div>M-04</div></div>
---	---------------	-----------------	--	--

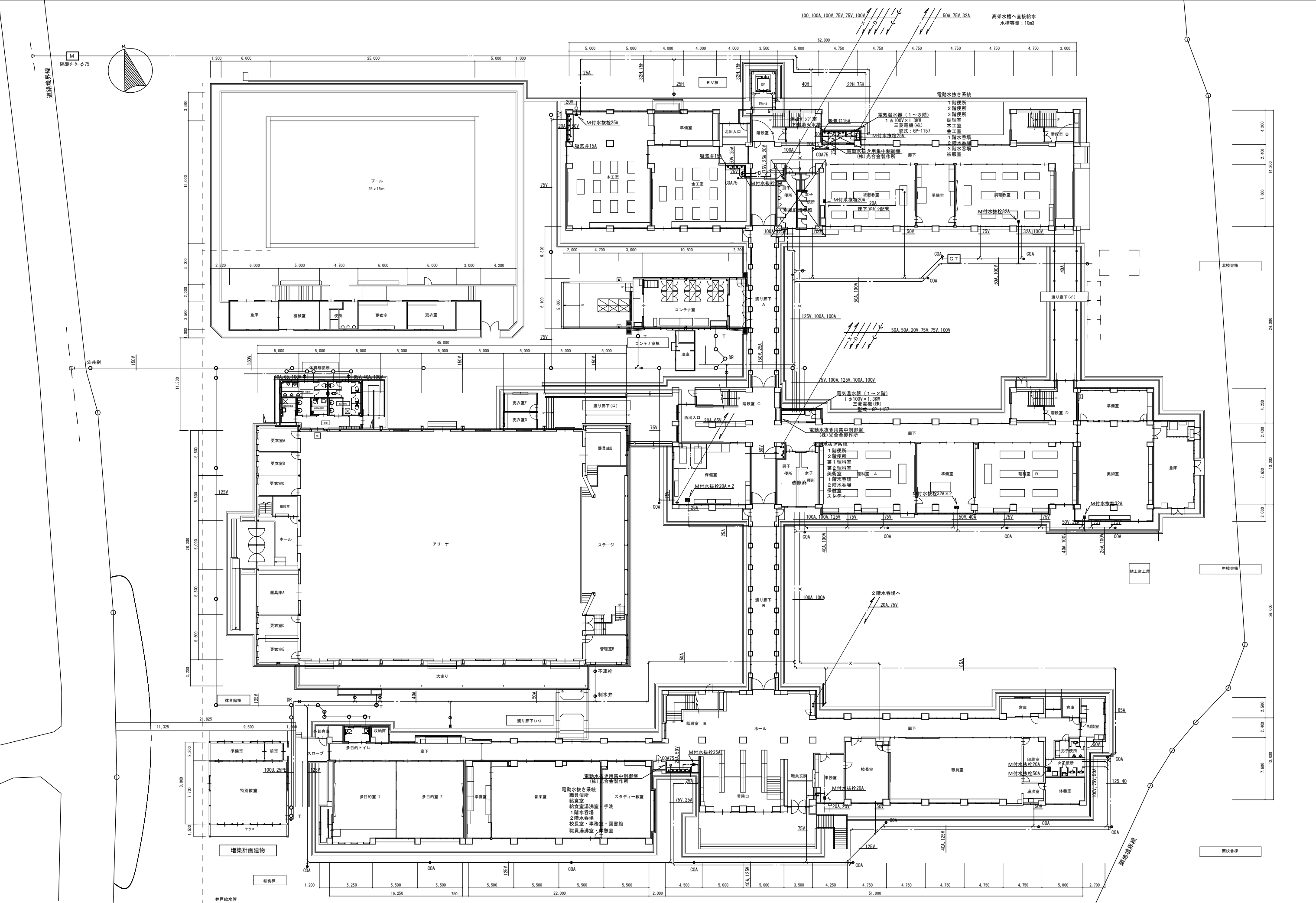


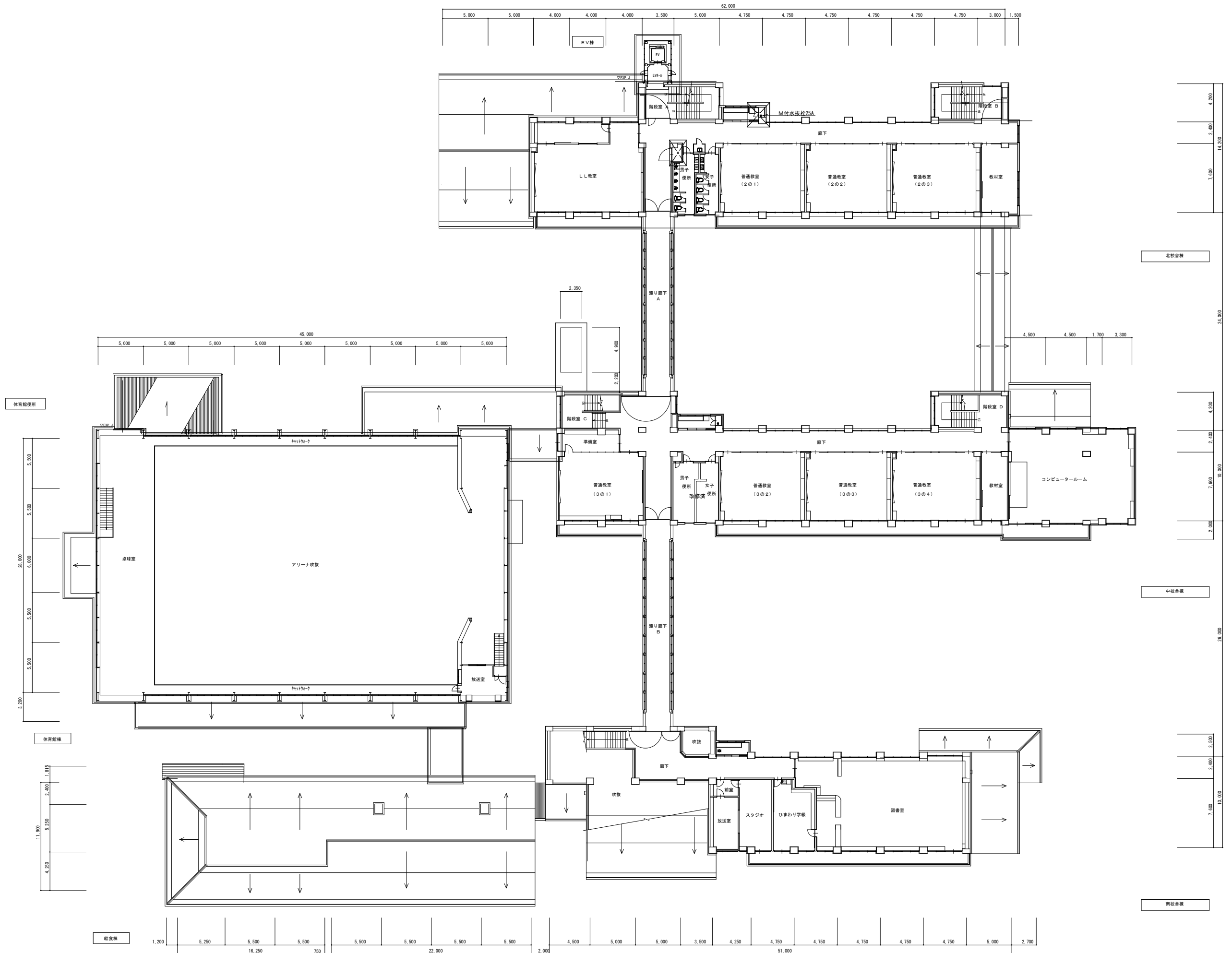
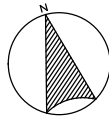


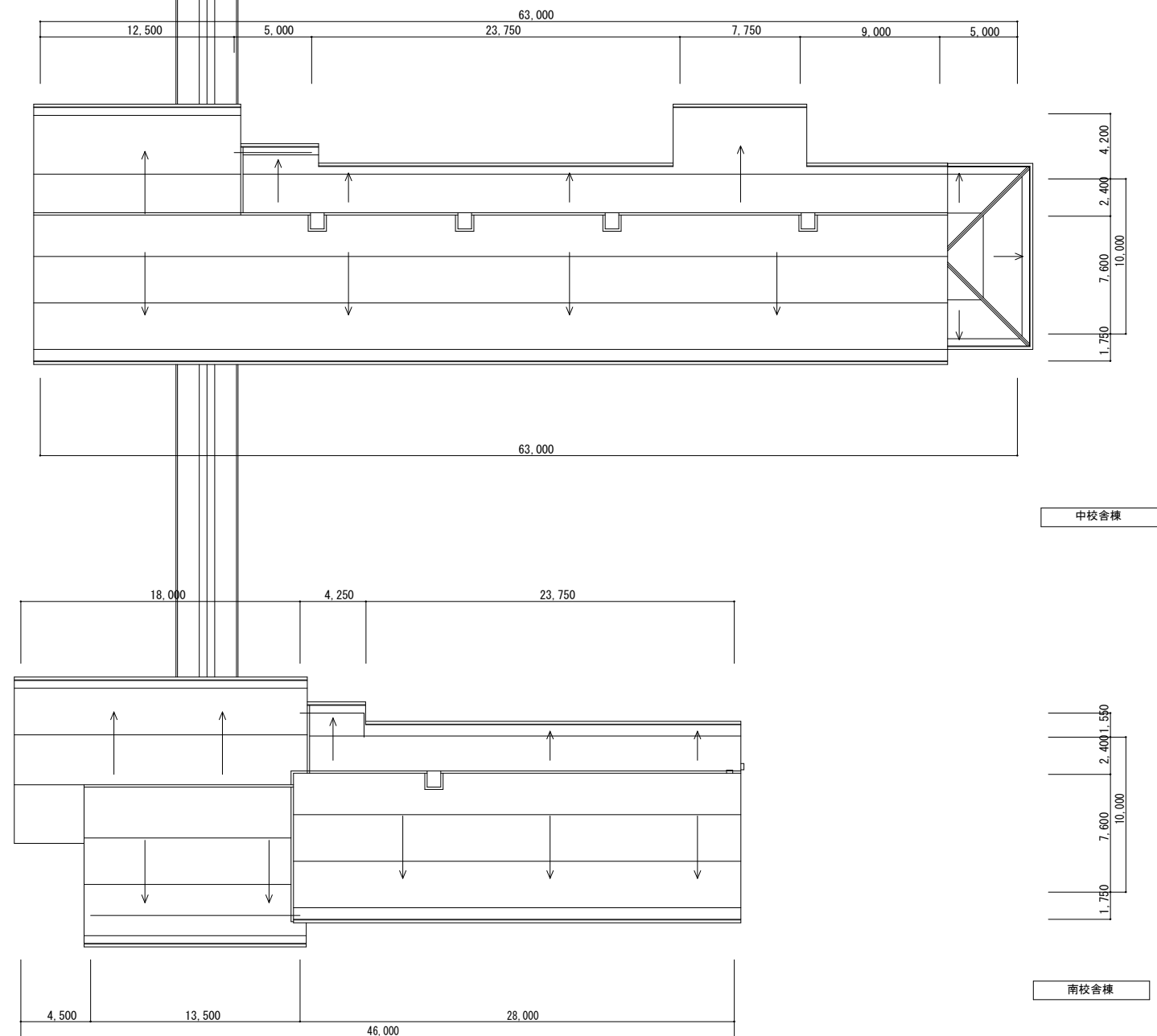
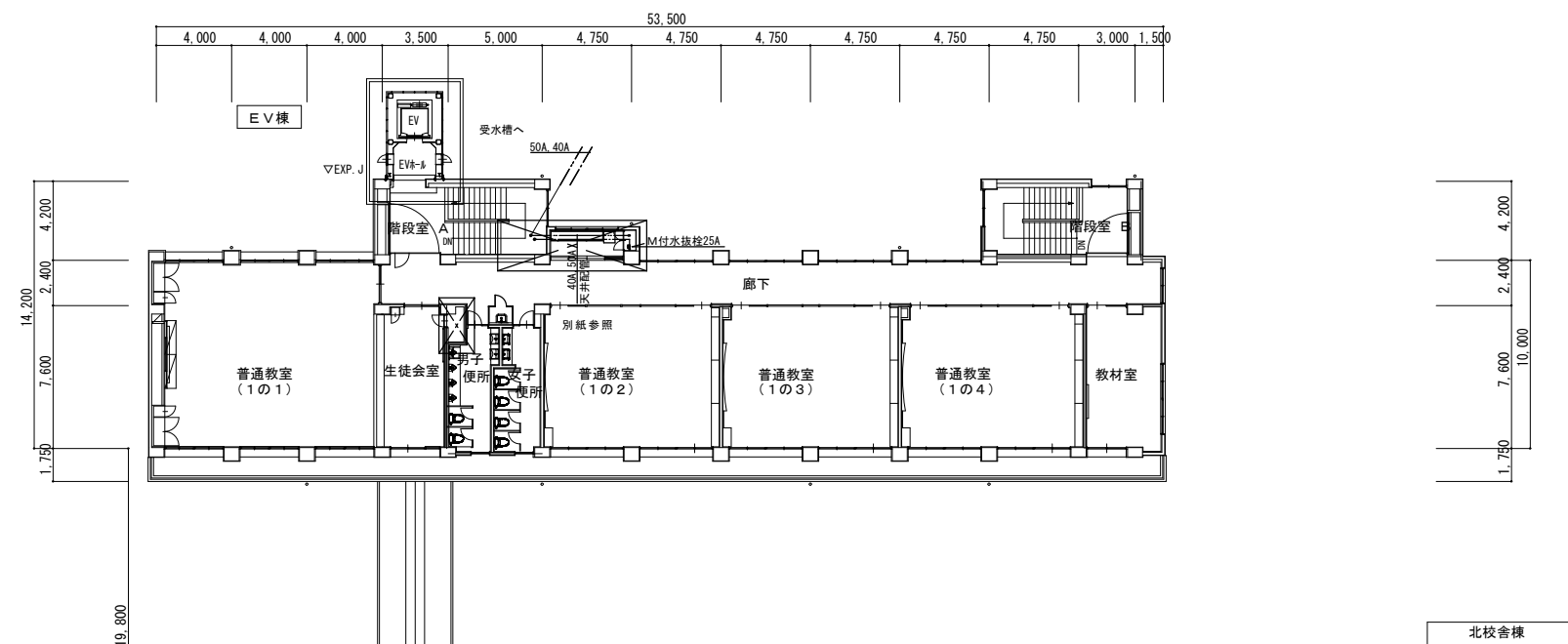


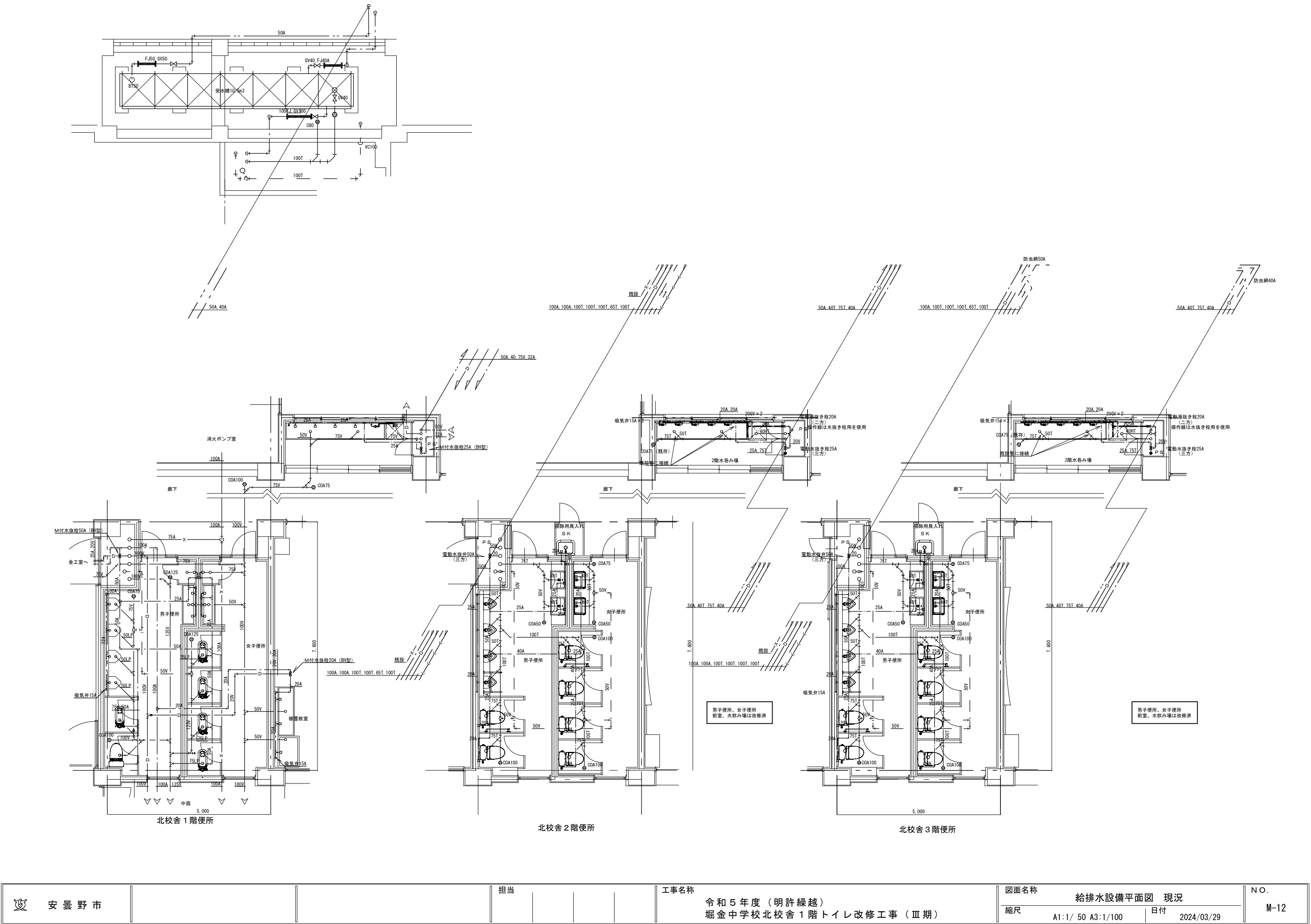












 安曇野市			担当			工事名称	図面名称		NO.
							給排水設備平面図 現況		
						令和5年度（明許繰越） 堀金中学校北校舎1階トイレ改修工事（Ⅲ期）	縮尺	日付	M-12
							A1:1/ 50 A3:1/100	2024/03/29	

